

ニットクニュース

NITTOKU NEWS

No.86

2025夏季号

【特集】

覗いてみよう、水中深くを。



1 ご挨拶 取締役会長 田谷 純

2~18 **【特集】**覗いてみよう、水中深くを。

INTERVIEW

4 素晴らしい深海生物。

中川翔子 ●タレント

6 見つめてみよう、深海生物を。

●沼津港深海水族館 シーラカンス・ミュージアム

11 親しもう、川や湖の生き物に。

●世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ

16 自宅で楽しむ“小さな水族館”。

●ADA LAB TOKYO



▲沼津港深海水族館 シーラカンス・ミュージアム



▲世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ



▲ADA LAB TOKYO

19 ●NITTOKU EYE

19 JAMSTEC (国立研究開発法人海洋研究開発機構) へ。

20~25 ●得意先を訪ねて

20 【愛知・豊田市】株式会社市川塗工店

22 【兵庫・姫路市】株式会社大谷塗料店

24 【宮崎市】アイワ工業株式会社

26~32 ●TOPICS

■お知らせ

26 第119期「定時株主総会」を開催

26 投資家向けの決算説明会を開催 一過去最高の業績と新たな中期経営計画を共有—

27 「海ごみゼロウィーク2025」に参加

28 「ラジオCM」放送を始めました。

28 「消防行政特別協力章」「関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰」を受賞

■自動車製品事業本部

28 静岡工場に「太陽光発電パネル」を導入

29 タイ・SRN「創立20周年」記念式典を開催

29 タイ・SNC新倉庫に太陽光パネルを設置

■塗料事業本部

30 「マルモフェア2025」に出展

31 「東京マルテフェア」に出展

32 「第30回フジミフェア」に出展

■新製品紹介

30 ●塗料事業本部「TMRプライマー」 ●DIY販売部「スキマコーク」

■企業の営繕担当者様へ

32 塗装・防水・塗り床の改修に関するご相談を承ります。

33~41 街を彩るニットクの製品

●発行日 2025 (令和7) 年8月
●企画・発行/編集 日本特殊塗料株式会社・広報委員会/坂口繁伸
●表紙イラスト 駒田寿郎
●制作協力 有限会社 齋藤デザイン事務所 (齋藤貴明)

『ニットクニュース』
定期購読者を募集!

『ニットクニュース』の定期購読者を募集しています。『ニットクニュース』は当社が企画、制作し、年に2回(新春号1月、夏季号8月)発行している広報誌(フリーペーパー)です。ご希望がございましたら、ホームページのお問合せフォームからお申し込みください。ご希望の宛先に直送いたします。

ご挨拶



●取締役会長
田谷 純

暑中お見舞い申し上げます。

日頃よりの格別のご高配、ご厚情に対し、心より厚くお礼申し上げます。

近年は、地震の頻発、線状降水帯による集中豪雨そして記録的な猛暑と、自然の驚異に対して、人類の無力さを改めて感じる次第です。

さて、2025年の日本経済は、緩やかな回復が続けていますが、米国のトランプ関税により不確実性が高まっています。今後は減速感が強まると予想されますが、春闘での賃上げや堅調な企業業績に支えられて消費や設備投資といった内需は底堅く推移することで、景気後退局面入りは回避できる見通しであります。実質GDP成長率は2024年度実績の+0.8%から、2025年度は+0.3%と予測されています。ただし、トランプ関税による影響次第では下振れするリスクは留意すべき点であります。

世界の情勢が先行き不透明な状況下、日本の未来に向け、日本の社会には、少子高齢化、財政赤字による国債残高の増大など、さまざまな課題が山積しています。とりわけ、少子高齢化による労働人口の減少に対する対応は、今後の企業経営にとり喫緊かつ極めて大きな課題といえます。米国企業等におけるデジタルビジネスの台頭に対し、日本のデジタル化推進はやや劣後しているという見方があります。こうした見方を変革するため、AI・IT・生成AIの活用等のDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進による生産の効率化や省人化、そして事務処理の効率化を進め、製品の魅力を高め、付加価値

を上げていくことが企業にとって極めて重要な課題です。

弊社は4年後の2029年6月に創立100周年を迎えます。本年4月に変革と挑戦をテーマとし、次の100年への創造も見据え、5カ年の新中期経営計画をスタートさせました。弊社の2大事業である塗料事業と自動車製品事業をさらに進化させるとともに、DX推進による業務プロセスの変革を実現し、経営基盤の強化を目指してまいります。

さらに企業にとりESG経営の推進が大きな命題ですが、そのひとつである環境への対応として、弊社は以前から古衣料を再生し、自動車部品の材料に使用するなどリサイクル材を積極活用しています。今後は、さらなるサーキュラーエコノミー実現への貢献を強く意識し、循環型社会の実現に向け一層の力点を置いて取り組んでまいります。

皆様からのアドバイスを大切に、それに沿った新たな製品を開発し、迅速なサービスを提供するとともに、独自の提案を心がけ、ご期待に沿えますよう社員一同が研鑽を重ねてまいります。

今後も、変化する環境下、さまざまな問題、そして難しい局面もあるかと思いますが、皆様とともに、社員一丸となって、積極的にチャレンジさせていただきますので、ご支援、ご協力を賜われますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様の、ますますのご健勝とご繁栄をお祈り申し上げます。

特集

覗いてみよう、 水中深くを。

宇宙よりも行くのが難しいといわれる「深海」。
太陽光が届かない水深200m以深の深海は謎も多く、未知の世界が広がっている。
そこで生きる生物は地上のそれとはまったく異なり、
想像を超えた姿や生態を持つものもいる。

不思議な生物世界が広がっているのは海だけではない。
川や湖沼などでも環境や生物の多様性を認識できる。

海に囲まれ、豊かな川や湖に恵まれた日本。
水中深くを覗き、そこで生きる生命の神秘にふれる。

生きるための工夫

多様性の時代といわれますが、私が最も多様性を感じるのが深海です。足のようなヒレで海底を歩く魚、エビの握り寿司そっくりな生物、叫んでいる人の顔みたいなウニ、誰かがデザインしたとしか思えない大型深海魚リュウグウノツカイ……。海の生き物に比べると人間はなんとシンプルか。私ももっともっと工夫してみたくります。

昔はちょっと変わった生き物を「気持ち悪い」と言う大人がいました。でも、時代は興味を持って楽しんだもの勝ちにどんどん変わっている気がします。大事なのは、いかにリスペクトしカッコよさを見つけられるか。私は生き物の図鑑を見ていると、脳の小部屋が開いていくようなドキドキ感を覚えます。そもそも「好き」がいっぱいある方が人生は断然面白いと思っていて、そういう感覚を幼少期に持たせてくれたのが祖父でした。

* *

父親を早くに病気で亡くした私を、祖父はいろいろなところに連れて行ってくれました。思い出深いのは東京からロマンスカーで行った江ノ島。いまほど砂浜が整備されていなくて、魚の死骸やサメの卵、クサフグやトラフグの産卵も見ました。桜貝やほら貝を見つけるとうれしくて、まさに宝探し。持ち帰って図鑑と照らし合わせ「これはヒザラガイ」「こっちはカラスガイ」なんて眺めるのも至福のときでした。図鑑で見て気になっていたスカシカシ

パンというウニを、大人になって初めて死骸で手に入れたときは、造形美にうっとりしてしまいました。

祖父との時間はとても幸せでしたし、いまの仕事につながっていることもたくさんあります。私もお腹に新たな命を授かり、いつかこの子孫とロマンスカーに乗って江ノ島に行き、えのすい（新江ノ島水族館）で生き物を一緒に観察するという夢ができました。子孫もきっと祖父や私みたいに海や生物を好きになるスイッチを持っているんじゃないかな。幼少期のあの幸せをまた体験できるかと思うと、いまから本当に楽しみです。

謎多き深海生物

24歳のとき、テレビ番組の企画でな

んと「しんかい6500」で深海に行くチャンスに恵まれました。芸人で水深5,351mまで潜ったのは私だけだそうです、光栄の極みです。

場所は岩手県の宮古沖。2時間半かけてゆっくり潜り、4時間探査をして、2時間半かけて戻ってくる。たまに水圧で船体がギギーッ、ピシッと音を立てると怖いですが、エアコンも効いていて快適。酔うこともありません。ただ、潜る前は万が一のことを考えて、初めて死を意識しましたね。

小さな窓から眺めた海中は素晴らしかったです。マリンスノーは生物の死骸だけではなく、生きて動いているのもたくさんいました。生息している生き物は深さで変わり、光るクラゲや触手が長いクラゲなど、よく知られる“変な生き物”がいるのは水深1,000mくらい

まで。3,000mになると光るホヤやオレンジ色のエビが多くいました。赤色系は深海では見えにくく、敵の目を欺くのに都合なのだそうです。4,000m、5,000mになるとヨロイダラやイソギンチャク、紫や黄色のナマコ……。YouTubeがまだ一般的ではなかった時代、初めて見る世界を必死で目に焼き付けました。

深海は夢のような光景でしたが、無事に浮上して見上げた夜空の美しさも忘れられません。天の川が見えるくらいに星がきらめいていて、マリンスノーの深海と宇宙は似ているなど思ったことをよく覚えています。

私が潜ったのは2009年で、2年後に起きた東日本大震災の震源地でした。地震で地割れができる前の最後の探査だったそうです。何年か後に「しんか

い6500」を運用するJAMSTEC（海洋研究開発機構）さんから、地割れからゲル状の透明の有機物が吹き出ているのを生物が食べているので調査中だと聞きました。地球は確かに生きていて、謎に包まれています。

水族館は永遠の癒し

祖父は私を水族館にもよく連れて行ってくれました。大人になっても水族館好きは変わりません。池袋のサンシャイン水族館のタッチプールで、イトマキヒトデを4時間半観察し続けたこともあります。海そうめんといわれるアメフラシの糸状の卵や、砂茶碗と例えられるツメタガイの卵を運よく見られたときはうれしかったですね。

北海道の「サケのふるさと 千歳水族

館」には私のひいひいおじいちゃんの写真が飾られています。ひいひいおじいちゃんはサケとマスの養殖用のインディアン水車を日本に持ち込んだ人。そのご縁で、私が飼っていたカメも水族館で飼育展示してくれています。

神戸の「アトア (átoa)」は2021年オープンの最新型水族館で、光栄なことに私はここのゾウガメたちの名付け親になりました。高知の桂浜水族館も個人的に大好きです。レトロな水族館は手作りの良さがあり、新しい水族館はテクノロジーを駆使した“映える”展示が多い。変わらないのは、生き物好きの飼育員さんのこだわりを随所に感ずること。水族館は私の癒しです。

* *

好きな海の生物を挙げたらきりがありません。ツメタガイ、スカシカシパン、ナガヅエソ、ヨロイザメ、ギンザメ……。 「何がどうしてそうなった？」という不思議な姿かたちや生態に特に心奪われます。

生物は生き延びるために進化を重ねてきました。彼らを見ていると、生きるって命をつなぐことなのかなと思います。そして、深海や宇宙の謎を解き明かせるのは人類だけで、一つひとつの発見こそ人類の進化といえるのではないのでしょうか。かつて図鑑でしか見られなかった深海生物は沼津港深海水族館などで生態を観察できるようになり、地球以外で生命体が見つかる日も遠くはなさそう。長生きして、一つでも多くの発見を見届けなくては！

INTERVIEW 素晴らしき 深海生物。

中川翔子 ●タレント



なかがわ・しょうこ ●東京生まれ。2002年に芸能界デビューし「しょこたん」の愛称で親しまれる。歌手、タレント、声優、俳優、イラストレーターなど多方面で活躍。漫画や特撮、生物、サブカルなどに詳しく、SNSのXとYouTubeは100万人近いフォロワー数を誇る。ネコ好きで知られ、クリオネやヒル、プラナリア、ピバピバ(カエル)などの飼育経験もある。著書「死ぬんじゃねーぞ!!! いじめられている君はセツタイ悪くない」(文藝春秋)などがある。

見つめてみよう、深海生物を。

◎沼津港深海水族館 シーラカンス・ミュージアム

“深海”は一般的に水深200mよりも深いところ。

暗く、冷たく、高水圧の深海には、いったいどんな生き物がいるのか。

富山湾、相模湾と並び「日本三大深湾」に数えられる駿河湾は

最深が2,500mで日本一の深さを誇る。

その駿河湾沿いに建つ「沼津港深海水族館 シーラカンス・ミュージアム」は多種多様な生き物と謎多き古代魚シーラカンスを展示して人気だ。

世界でも類を見ない“深海”をテーマにした水族館を訪ねた。



1階は深海の宮殿のような駿河湾大水槽が目を引く。大水槽の中には駿河湾に生息する数十種類の生き物がいて、底曳網漁と一緒に引き揚げた石や海洋廃棄物などもそのままディスプレイ。館内は暗めの照明とほのかに漂うハーブの香りが心地よい異世界に誘ってくれる。

駿河湾は生き物の宝庫

日本一高い富士山を望み、日本一深い駿河湾が目の前に広がる「沼津港深海水族館 シーラカンス・ミュージアム」。世界で唯一の深海に特化した水族館だ。飼育展示している約8割が駿河湾で採集した生き物で、“生きる化石”といわれるシーラカンスも冷凍標本と剥製が5体展示されている。

館内は薄暗く、海中の岩を模した壁が入り組んでいて、見上げればサメらしきシルエット。巨大水槽では世界最大のカニであるタカアシガニが中央を陣取り、その周囲を何種類もの魚が泳いでいる。小さな水槽一つひとつには不思議な形や色をした生き物たち。まるで深海の世界に迷い込んだようなワクワク感！



2011年のオープン以降、世代を問わず深海好きが集まる「沼津港深海水族館 シーラカンス・ミュージアム」。沼津港「港八十三番地」内にある。

駿河湾には日本の魚類の実に3分の1の種類が生息するという。富士山から注ぐミネラル豊富な雪解け水と、生態系の底辺を支えるサクラエビが多くいること、さらに伊豆半島の切り立った崖や、湾に流れ込む複数の一級河川が作り出す海底の地形が、多種多様な生物を棲みやすくしているようだ。

駿河湾の底曳網漁は100年以上の歴史があるが、獲られた深海魚は鮮度が保ちにくいと流通することはなく、ほとんどが地元で食されてきた。そんな一般にはなじみの薄い深海魚を知ってもらうことで地域を活性化させようと、地元水産会社が2011（平成23）年に創設したのが「沼津港深海水族館」である。

飼育はいまも試行錯誤

「最近ではテレビやネットで深海の映像を見るようになりましたが、オープン当時は情報がほとんどなく、飼育も展示も未知数。死亡した個体を解剖して、何を食べているか調べるところからでした」と語るのは、飼育・展示マネージャーの塩崎洋隆さん。



左：タカアシガニは水深250～650mに生息。はさみ脚を広げると約4m。おとなしくて動きが遅いため、ほかの魚に餌を横取りされてしまうこともある。中：テナガオオホモラの生息水深は250～380m。一番後ろの脚1対2本が体の上についている。先端がかぎ状で、沈木などを背負って身を隠すことがある。右：イガグリガニは水深200～600mに生息。名前にカニがついているが、実はタラバガニと同じヤドカリの仲間。

生き物の採集は10～5月の底曳網漁の船に同乗して行う。水深200～500mの海底を網でさらうように獲るため、まず生きて捕獲するのが難しい。捕獲できた場合、保冷容器で持ち帰った魚をバックヤードの真っ暗な水槽で落ち着かせ、少しずつ明るくして慣れてきたら展示水槽でお披露目となる。飼育

記録をもとに生き物の種類ごとに照明や餌を変え「少しでも長期飼育できるよう、環境はいまも試行錯誤中」とのこと。冬の深夜の漁の過酷さも想像に難くないが「大変ですが、何が獲れるかわからない面白さもありますよ」と笑う。

その塩崎さんが最初に担当した生物の一つがメンダコだ。独特の匂いがほ

かの魚に移るからと漁師からは敬遠されていたが、耳のようなヒレをパタパタさせて泳ぐ姿がかわいいと、いまでは“深海のアイドル”。ただ、環境の変化にとっても敏感で、展示には特に気を遣うそう。そんななか孵化にも成功し、今年は最長飼育59日を記録した。禁漁期の夏はメンダコの生体展示はないが、



「深い海」コーナーにある大水槽。ヒトデやイソギンチャク、魚類、甲殻類などのカラフルな世界が広がっている。



人気のダイオウグソクムシはダンゴムシやフナムシと同じ仲間、体長は最大50cmにもなる。7対14本の脚と2対4本の触角を持つ。大型魚類やクジラの死骸、弱った生き物など何でも食べる、別名「海の掃除屋」。生息水深は200～2,500m。



大人気のメンダコは水深200～1,000mに生息。他のタコと異なり、墨は持っていない。夏は禁漁期のため、生体は10月頃から展示予定。



花のように触手を広げ、中心が蛍光色に輝いているセイタカカワリイソギンチャク。深海には色も形も美しい生物が多い。



上はハシキンメ(生息水深150～700m)。顔は怖いが美味なため、高級魚とされる。下はヒレと赤い体が美しいユメカサゴ(生息水深150～500m)。



2階のシーラカンス・ミュージアムで冷凍展示されているシーラカンスは、いまでも動き出しそうな迫力。この個体は、日本の学術調査隊が1980年代に捕獲し、日本に持ち帰った直後から冷凍保存されている。水深200～600m付近に生息し、捕獲時の体長は165～170cm、体重75～80kg。

本物そっくりの標本や映像で見ることができる。

「一見、何かわからない生物が好き」と言う塩崎さんのおすすめがトリノアシ。鳥の足というより植物のようなトリノアシは最近、餌を動物性プランクトンから植物性プランクトンに変えて長生きするようになった。「光が届かない深海は植物がないと考えがちですが、死んだ植物性プランクトンはマリンスノーになって漂うので、自然界で捕食していたのでは？」と推測する。

展示生物は時期で異なり、訪れたと



飼育・展示マネージャーの塩崎洋隆さん。近年は温暖化の影響で冬でも海水温が下がり切らず、採集や輸送に苦労するそう。



左：トリノアシは5億年前から姿を変えていない「生きる化石」の一つ。触手を広げてプランクトンを捕食する。中：鮮やかな黄色のイロカエルアンコウ。足のようなヒレで海底を歩くように移動する。右：ポロカサゴは体表のたくさんの突起が破れ布をまとっているような見た目から名づけられた。



左：水玉模様が特徴的なミドリフサアンコウ。捕らえた獲物を離さないように歯がぎっしり並んでいる。中：紅色の体とおちょぼ口が特徴のベニテグリ。赤色系は深海では黒く見えて保護色になる。右：グローブのようなこのヒトデは、その名もカワテブクロ。熱帯の浅い海に生息している。

きは細く長い脚が特徴的なサナダミズヒキガニやイロカエルアンコウ、ポロカサゴ、蛍光色のイソギンチャク……。駿河湾の暗い海の底にこんなに美しい色や姿をした生き物がいることに感動する。水槽一つひとつがまるでアート

作品のようで、見惚れてしまう。海外の生き物もユニークだ。カーテンで仕切られた真っ暗な空間に「深海のプラネタリウム」として展示されているのは、眼の下に発光器を持つたくさんのヒカリキンメダイ。人気のダイ



のし袋の水引のような細く長い脚が特徴のサナダミズヒキガニ。規則正しい紅白のしま模様が美しい。水深50～300mに生息。

オウグソクムシは、一見メカニックでコワモテ。水槽の隅でじっとにらみを利かせていたが、週に一度の餌の日は活発に動き回り、逆さ泳ぎも披露してくれるとか。個性派ぞろいの深海の生き物は見ていて飽きることはない。



平たい体や脚をしている、水深180～800mに生息するヒラアシクモガニ。オスはメスより体やハサミが大きくなる。細く長い脚は折れやすく、捕獲されることが少ない。

神秘的なシーラカンス

こちらの施設のもう一つの目玉がシーラカンス。3億5000万年前に出現し、恐竜が絶滅した時代をも生き抜き、いまなおその姿をほとんど変えていない



冷凍シーラカンスは2体。マイナス20℃に保たれた特注のガラスケースで展示されている。

謎多き古代魚である。2階のシーラカンス・ミュージアムで迎えてくれたのは、マイナス20℃で冷凍保存された2体。ガラスケース越しにほぼ360度から全身を眺められ、鱗1枚1枚や口の中まで間近で観察できる。全長170cmほどの

深海を味わう 沼津港「港八十三番地」

「沼津港深海水族館 シーラカンス・ミュージアム」がある「港八十三番地」は「駿河湾を味わう町」がテーマの飲食店を中心とした施設。深海魚を提供している店がいくつかあり、そのなかの一軒「海鮮丼 佐政」へ。深海丼に盛られていたのはユメカサゴやメギス、シンカイホンエビ、キンメダイなど。どれも新鮮でプリプリと軟らかく、旨味が強いものもあっさりしたものもあり、おいしい。深海魚は低水温、高水圧の厳しい環境に適応できるよう、体に脂を多く蓄えているのだという。

「港八十三番地」にはほかにも深海魚をコンロで焼いて食べる「浜焼き しんちゃん」や、深海魚バーガーが人気の「沼津バーガー」などがある。水族館での生態観察とあわせ、味覚からも深海を楽しんではいかがだろうか。（水族館の当日チケットで割引あり）



脂が乗っておいしい深海丼は、干物と味噌汁付きで2,838円（税込）。姿造りのユメカサゴは素揚げもしてくれる。

●港八十三番地
静岡県沼津市千本港町83番地
<https://www.minato83.com/>



左から駿河丼1,958円、伊豆金目鯛の湯引き丼2,618円、駿河湾産釜揚げしらす桜えび丼1,518円。いずれも干物・味噌汁付き。税込。



調査・研究のために解剖した後、剥製になったシーラカンス。3体展示されている。

巨体はいまにも動き出しそうな迫力だ。その奥には剥製3体の展示もある。

この5体は1980年代に日本の学術調査隊がアフリカ大陸南東部のコモロ諸島で捕獲したもの。シーラカンスは絶滅の危機に瀕しているため、現在はワシントン条約で商取引が規制されている。冷凍シーラカンスが見られるのは世界でもここだけという貴重さだ。

解説板の「背骨がなく、硬い鱗が体



深海生物やシーラカンスのアイテムが豊富に揃うミュージアムショップ。一番人気はメンダコのグッズ。

ちょっと寄り道

三島「ブラッセリー アレ」

「沼津港深海水族館 シーラカンス・ミュージアム」から車で約20分。JR三島駅そばにある「ブラッセリー アレ」は地元の食材を生かした料理と、食事に合うクラフトビールが楽しめる店。料理はおいしく、彩りも盛り付けも洗練されている。併設するフェット三島醸造所で造られたクラフトビールはどれも個性豊かな味わいで、喉も心も優しく潤してくれる。立ち寄りにはいかがだろうか。

静岡県三島市一番町10-8
☎050-5492-5313
<https://nbch603.gorp.jp/>



さまざまな香りや味が楽しめるクラフトビールは880円（税込）から。料理のコースメニューも豊富。1階はカジュアルな雰囲気のテーブル席で2階は個室。

を支えている」[鱭には4足動物と共通する関節がある]「卵を体内で孵化させて仔魚を産む」など、一般的な魚類とは異なる特徴も神秘的で興味深く、脳や浮袋、卵などの展示もある。

★ ★
近年、深海に関する調査が少しずつ進むなか、塩崎さんは「生態の面白さを伝えられるのは水族館ならではの。これまで以上に楽しんでいただけるよう力を入れていきたい」と話す。

個性豊かで貴重な深海生物に出会える同館は、アトラクション施設の「ディープシーワールド 深海王国」や「VR 深海アドベンチャー ディープクルーズ」に加え、7月に新エリア「イマーズディープシーワールド（没入型深海の世界）」も完成。楽しみの幅がますます広がった。

●沼津港深海水族館 シーラカンス・ミュージアム
静岡県沼津市千本港町83番地
☎055-954-0606
<https://www.numazu-deepsea.com/>

親しもう、川や湖の生き物に。

●世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ

川や湖、沼などにも数多くの生き物がいる。

地元の水系に生息する生物を飼育・展示する淡水魚水族館は各地にあり、海水魚の水族館とは違う魅力がある。

岐阜県を流れる長良川は、

高知県の四万十川、静岡県の柿田川とともに日本三大清流の一つ。

その長良川を中心に、世界の河川の淡水魚も観察できる

「世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ」を訪ねた。

長良川の滝壺を再現した水槽に太陽光が注ぎ、アマゴやサツキマスが気持ちよさそうに泳ぐ。

淡水の生物の不思議

水族館というと海の生き物が思い浮かぶかもしれないが、内陸にもたくさんの生き物がある。地形も気候も変化に富んだ日本列島は国土の約7割を山地が占め、大小さまざまな川が海に注いでいる。地元の水系の生物を飼育・展示している淡水魚水族館を訪ねると、その生態だけでなく、地形や植物の特色、人の暮らしも見えてくる。

* *

岐阜県各務原市にある「世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ」は、2004（平成16）年にオープンした世界最大級の淡水魚水族館。岐阜県などが管理する広大な公園施設「世界淡水魚園」の中にあり、長良川、木曾川、揖斐川、木曾三川の生物を中心に、世界の淡水魚を展示。平日も多くのファミリーで賑わっている。「海のない岐阜県には山と川がたくさんあります。山の豊かな生態系が川の生き物を豊かにし、やがて海へと続いていきます。自然はつながっているということを感じていただけたらうれしい



「世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ」は広大な公園施設「世界淡水魚園」の中にある。公園は水路沿いに大観覧車やアスレチック、水遊び場、飲食店などが並んでいる。



コイやナマスが泳ぐ長良川中流から河口エリアの水槽前で話す松浦さん。「淡水魚は知れば知るほど面白くて愛着が湧きます」。

ですね。ここでは木曾三川の多種多様な生き物を観察いただけます」と語るのは営業企画部の学芸員・松浦香佳さん。魚類と両生類で約220種、2万点がいて、植物を含めると約250種、2万2,000点。さらに「世界の川に生息する希少な淡水生物もご覧いただけます」とのこと。アジアやアフリカ、南米など世界の淡水魚巡りを楽しむことができる。

長良川流域を再現

4階から3階は長良川の源流から河口にかけての様子を展示。4階は太陽

光が降り注ぐガラス張りの広い空間が広がり、樹木や草花が生い茂っている。荒々しい岩や石の通路の先には滝もある。長良川の源は標高1,709mの大日ヶ岳で、再現されているのは源流の一つとされる郡上市高鷲町の^{かますだに}吠谷の滝と渓谷だ。現地でも目にするトチノキやミズナラなどの植物も植えられている。垂れ下がる木の根や水草など、水槽も自然そのものといった感じだ。

「スタッフが現地をたびたび訪れ、流木や石や水草などを入れて環境を真似ています。生き物たちが生息する環境をお客様がイメージでき、かつ生き物



見学の出発点となる4階入口。長良川の源流のひとつである郡上市高鷲町の吠谷の滝や渓谷を再現している。



渓谷の間にディスプレイされた水槽で泳ぐヤマトイワナ。自然界ではユスリカの幼虫や昆虫、小魚などを食べる。



長良川上流から中流にあたる郡上市、美濃市の河川環境を再現。アユが石に生えたコケを削り取って食べる姿も見られる。

たちも安心して棲める展示を心掛けています」と松浦さんは話す。

大きな岩の間に隠れるように水槽があり、泳いでいるのはヤマトイワナ。夏でも水温15℃以下の上流域の清流に生息し、オレンジ色の斑点が美しい。

滝壺の水槽には長良川を代表するアマゴとサツキマスもいる。同じ種類だが、サツキマスは海に下る生活史をもつ。案内板によると、冬に上流で孵化した稚魚が翌年の秋頃に河口を目指して川を下り、海の沿岸域でエビや小魚を食べて成長。春に川を上りはじめ、夏に上流にたどり着くという。ただし、そんなサツキマスも河川環境の整備などにより、川を行き来できなくなって数を減らしているようだ。

3階に降りると、アマゴとサツキマスの水槽を滝壺の下から水中目線で観察することができる。岐阜と滋賀の一部にしかいないというハリヨの水槽もある。ハリヨは全長5cmほどで、湧き水のある池や澄んだ川に生息。3～5月は繁殖期だそうで、訪れた6月もオスの口から腹部にかけ婚姻色といわれる

ちょっと寄り道

各務原「本家豆大福 だるま堂」

1939（昭和14）年創業の「本家豆大福 だるま堂」は、メディアでもたびたび取り上げられる人気の和菓子店。夏にぜひ味わっていただきたいのがボリューム満点の「豆大福氷」だ。かき氷にさっぱりした甘さのシロップがかかり、手作りの豆大福、白玉団子、わらび餅、餡が贅沢に

乗っている。素敵なしつらえの大福茶屋でいただければ、夏の暑さも疲れも吹き飛び、心まで満たされること間違いなし。「世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ」から車で12分ほどなので、時間があれば立ち寄ってはいかがだろう。



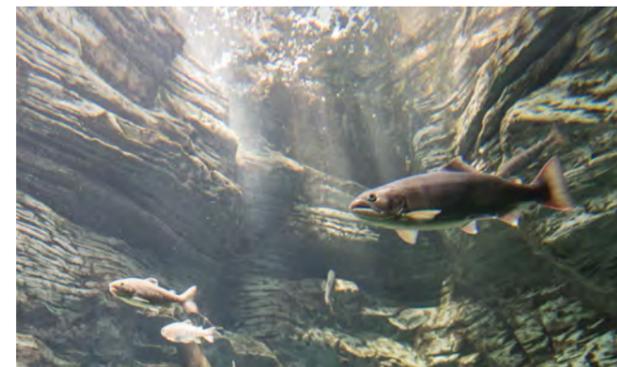
夏季限定の「豆大福氷」は手作りの和菓子が贅沢に乗って990円（税込）。店主によると、氷の高さは年々高くなっているそう。持ち帰りも可能。

岐阜県各務原市那加東那加町17
☎0120-28-0523
<http://www.mamedaifuku.jp/>

朱色に染まっていた。

同館は、特別天然記念物のオオサンショウウオ、ハリヨやイタセンパラ、メコンオオナマズといった絶滅危惧種を後世に残す取り組みとして累代繁殖に

力を入れ、成功させてきた。国内で初めて国の希少種保全動物園等にも認定された。生物は環境が整って初めて繁殖活動をするので、いかに環境再現に力を入れているかがわかる。



滝壺の水槽にはサケ科のアマゴがいる。上流の渓谷で一生涯を過ごすのがアマゴ（体長約10cm）。アマゴと同種だが、秋に海に下り、翌春に川を上るという生活史をもつのがサツキマス（体長約35cm）。



中流から河口の水槽では、絶滅が危惧されるハリヨが元気に泳いでいる。繁殖期、雄は口から腹部にかけて婚姻色の朱色に変わる。



上流域に生息するクロサンショウウオ。落ち葉や岩の下に潜み、昆虫やミズを食べる。



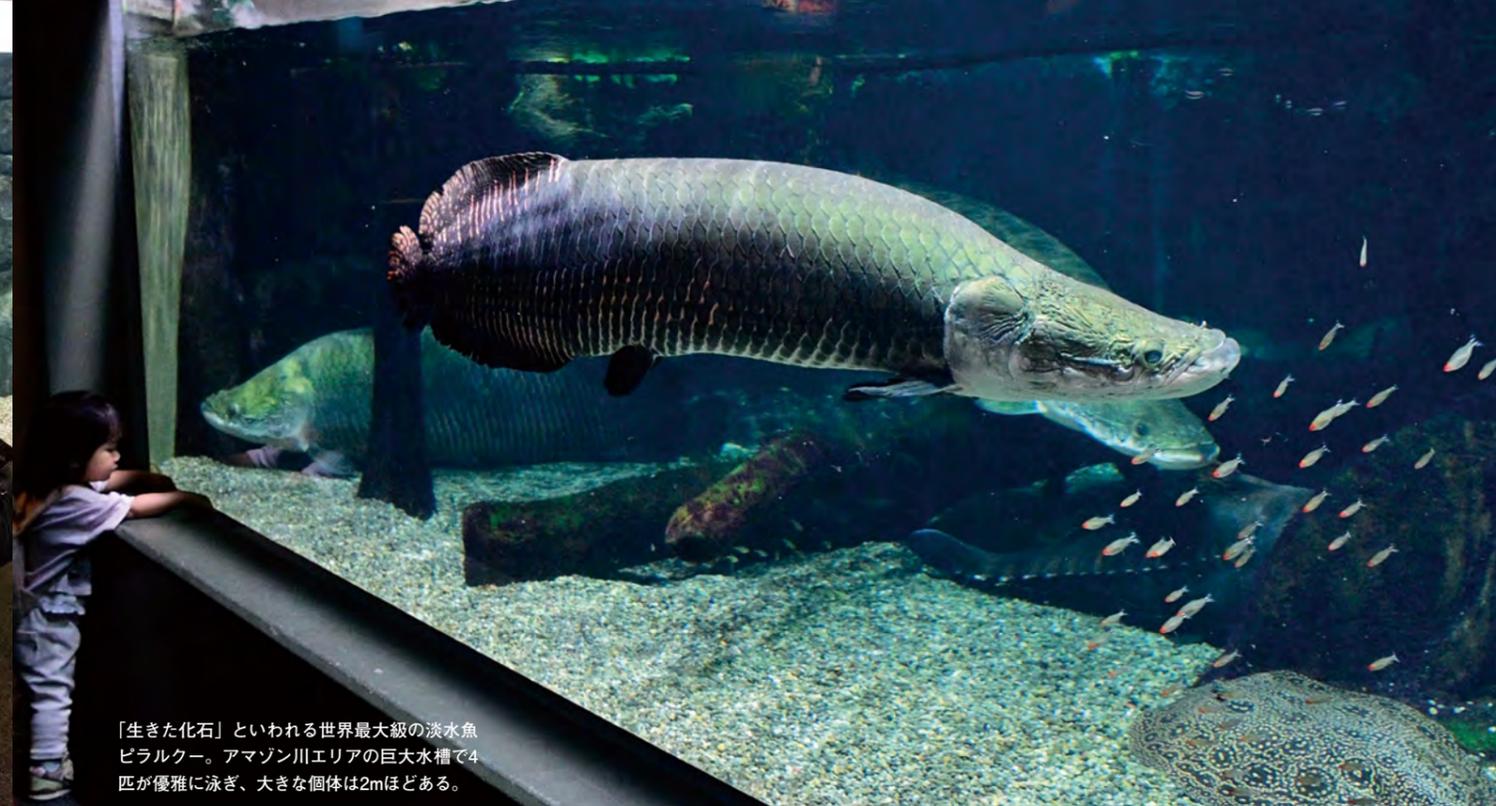
世界最大の両生類で特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオ。最大150cmまで育つ。



日本最大の湿原である北海道の釧路湿原には貴重な動植物が多く生息し、日本最大の淡水魚イトウもいる。2階の「メコン川淡水環境研究所」で展示。



メコン川エリアの大水槽では世界最大級の淡水魚のメコンオオナマズやイエローフィンパーフ、タイガーパーフなどが見られる。水槽は床まで広がり、子どもが魚を上から見たり見上げたり、泳ぎに合わせて一緒に歩いたりしていた。



「生きた化石」といわれる世界最大級の淡水魚ピラルクー。アマゾン川エリアの巨大水槽で4匹が優雅に泳ぎ、大きな個体は2mほどある。

上流から中流域エリアの展示は郡上市や美濃市の河川環境が再現され、アユやオイカワなどを見ることができる。清流のイメージが強い長良川だが、かつては洪水も引き起こしていたそうだ。石垣を組んで水害対策をするなど、川と共に暮らす人々の暮らしも垣間見ることができる。

世界の珍しい淡水魚をめぐる

2階と1階には世界の川に生息する生き物を展示。2階で来館者の足を止めていたのが、世界最大級の淡水魚、メコンオオナマズだ。全部で7匹いて、一



青紫色のはさが美しいメコン川エリアのオニテナガエビ。各国で養殖され貴重な食糧資源にもなっている。



アマゾン川エリアのボルカドットスティングレイは、水玉模様が目を引きエィ。夜行性で日中は砂地に潜っていることも。



アマゾン川エリアのクロコダイルスティングレイは強い毒を持つエィ。アマゾン川にはさまざまな淡水エィがいる。

番大きな個体は全長185cm。その大きさにまず驚くが、近づくと意外と愛嬌のある顔をしている。

海外の淡水生物は生態に関する情報が少ないため、毎日の飼育記録が非常に重要になるという。メコンオオナマズは餌を食べなくなる期間が長く、調

べたところ、その時期がメコン川の雨季に一致していた。自然界では乾季に大量発生する藻類を食べ、雨季は絶食する。その習性は飼育下でも変わらないのだ。

アフリカのコンゴ川エリアの水槽には、巨大なゴライアスタイガーフィッ

シュが悠々と泳いでいる。口を閉じていても目立つ鋭い歯が迫力満点だ。

アフリカ大陸のタンガニカ湖の水槽もある。地殻変動でできたこの湖の大きさはなんと岐阜県の3倍。そのエリアの大水槽ではユニークな子育てをする魚など、色とりどりの生物が泳いでいた。

世界最大の流域面積を誇るアマゾン川は淡水魚の宝庫。このエリアでは世界最大級の淡水魚、ピラルクーを展示。1億年もその姿を変えていない「生きた化石」といわれる魚の一つで、水槽の隅でじっとしていても存在感があるが、動くとき一気に迫力が増し、主の貫禄である。ほかにも水玉模様のボルカドッ

トスティングレイや、お腹が金色のピラニア・ナッターリーなど、アマゾン川エリアには見た目が華やかな魚も多い。

＊ ＊
大学時代はイルカの研究をしていた松浦さん。水族館で初めて淡水魚に携わり、その不思議な生態に魅せられた。「卵や稚魚を口内保育する魚や、お腹を上にして泳ぐサカサナマズ、肺呼吸するハイギョ……。それぞれの環境で生き延びていくための知恵だと思いますが、そういう面白さを伝えることで、淡水魚にあまりなじみのなかった方にも興味を持っていただけたら」と話す。常設展示以外に、年に3回企画展を



上:アマゾン川に生息するコロソマは、水面に落下する木の実を砕いて食べる。下:アマゾン川に生息するピラニア・ナッターリーは腹部の金が鮮やか。

行っている。12月7日までは『毒の館へようこそ～博士と学ぶ毒生物～』を開催している。他にもさまざまなイベントを実施しており、なかでも人気なのが「夜の水族館」で、子どもたちが探検気分を楽しんでいるという。普段は見ることのできない夜行性の生き物たちが活発に活動する様子も観察でき、大人も十分楽しめそうだ。

長良川の淡水魚や世界の淡水魚が気軽に親しめ、さまざまな発見が魅力の水族館である。

●世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ
岐阜県各務原市川島笠田町1453
☎0586-89-8200 <https://aquatotto.com/>



コンゴ川エリアのゴライアスタイガーフィッシュは黄色っぽい頭部と鋭い歯が特徴。どう猛な見た目と違い、非常に臆病だそう。右上はひと回り小さなタイガーフィッシュ。



上:コンゴ川エリアのデンキナマズ。最大500ボルトもの電気で小魚をしびれさせて食べたり、敵に襲われたときに身を守ったりする。左:コンゴ川に生息するハイギョの一種、プロトプレルス・エチオピクス。



上:アフリカのタンガニカ湖のみに生息するオレオクロミス・タンガニカエィ。オスは体が大きくなり、繁殖期には鮮やかな青色になる。

左:アフリカ大陸のタンガニカ湖の淡水魚を展示。口内保育をする魚や、ほかの魚の口に自分の卵を紛れ込ませて育てさせる魚もいる。

自宅で楽しむ “小さな水族館”。

●ADA LAB TOKYO

水族館の展示や水辺の景色に心癒される人は多いだろう。それを自宅やオフィスでも楽しめるのがアクアリウム。新潟に本社があるアクアデザインアmano (ADA) は生態系など自然の要素を水槽内に表現するネイチャーアクアリウムを30年以上前に確立し、国内外で人気だ。ADA LAB TOKYOで“自分だけの水辺の景色”を楽しむコツを聞いた。



1,800mm水槽にレイアウトされた水草と流木が自然そのままの印象を受ける。水槽内で元気に泳いでいるのはカージナルテトラやレッドテトラ、ブラックファントムテトラなどの熱帯魚。照明は光源に水草の育成と観賞に最適化したRGB-LEDを採用し、水草の緑色や赤色をより鮮やかに見せている。

小さな水族館を作る

揺れる水草の間を熱帯魚が気持ちよさそうに泳ぐ水槽や、ミステリアスな雰囲気漂わせる水草と流木の水槽、生い茂る植物が密林を彷彿とさせるガラスケース、1本の美しいジュエルオーキッド(宝石蘭)を植えた小型ポット……。自然を切り取ってそのまま閉じ込めたようなガラスケース作品がいくつも並び、その一つひとつに物語を感じて思

わず見入ってしまう。

ここは、2025(令和7)年4月に東京駅の大丸東京店10階にリニューアルオープンしたADA LAB TOKYO(Aqua Design Amano Laboratory TOKYO)。多くの人で混み合う東京駅のビルの中に、こんなに静かで心安らぐ空間があることに新鮮な驚きを感じる。実験室を思わせる道具や容器、材料などもディスプレイされ、どれも洗練された印象だ。「ひと昔前まで熱帯魚の飼育という

魚自体が主でした。私たちが提唱するネイチャーアクアリウムは、魚を育てる環境をまず作り、そこに美的要素を取り入れながら、作って楽しく、見て心安らぐアクアリウムです。水族館の水槽の世界を、自宅やオフィスなどの小スペースで作って楽しむことができます」と話すのは、ADA LAB TOKYO店長の佐藤拓郎さん。

ADAは水草育成器具を製造・販売している新潟のメーカーで、自然を水槽



オープンスペースの店内。ネイチャーアクアリウムやバルダリウムの作品が並び、洗練された印象。東京駅という場所柄、出張で東京に来た人も訪れるという。男性ファンが中心だったアクアリウムも、ミニバルダリウムのワークショップを始めたことで女性客が増えたそう。



佐藤店長。左のバルダリウムは佐藤店長の作品で、朽ちた木に宿る植物の命を表現。大きなコルクを削って木に見立て、40種類ほどの植物が使われている。



水中と水上部分のバランスが絶妙なアクアテラリウム作品。さまざまな角度から鑑賞したくなる。



素材の石は各種あり、質感や大きさ、色など好みのものを店舗で実際に見て購入できる。



流木や石などの素材はすべて天然のものを使っているため、同じものは2つとない。

内に再現するネイチャーアクアリウムを30年以上前に確立。東京スカイツリーにある「すみだ水族館」の水槽も13年前に手掛け、現在も維持管理している。東京に出店したのは3年前で、大阪にも店舗があり、各地で期間限定ショップ

も開催している。

「都会は自然に触れる機会が少ないと思うので、部屋の中に緑があって生き物がある環境はリラックスにつながるのではないのでしょうか。水槽内に循環型の仕組みを作り上げることで、長く

楽しんでいただけますよ」とアクアリウムの魅力を語る。

最近SNSで自作アクアリウムを披露したり、ノウハウを提供したりする投稿者も多いが、スタッフに気軽に相談ができてプロの作品もじっくりと眺められるのは、リアルな店舗ならではの良さだろう。

まずは植物を育てる

アクアリウムを長く楽しむために気を付けることを聞いた。

「特に重要になるのが光と水質です。光量を調整できるLED照明をおすすめしていて、適温は人が快適に過ごせる25℃前後。大量の水草をきれいに育て



上:石や木に付着した苔に年月を感じるアクアリウム。魚も生き生きと泳いでいる。左:水槽の下のレギュレーターで二酸化炭素を添加し、適切な光量を当てることで、水草の生長をつかさどる光合成を促進。水槽内の循環の仕組みを整えている。

ミニパルダリウムに挑戦!

多湿な環境を好む植物をガラスケース内で育てる「パルダリウム」はアクアリウムよりも手軽に自然を表現できるのが魅力。ワークショップに参加し、自分だけの小さな緑の世界を作った。

植物選びや植え方など専門スタッフのアドバイスを受けながら進め、1時間ほどで完成。使用した植物の名前や水やりの頻度、適正温度、光量などを記したガイドがもらえる。LED照明を使えば太陽光の入らない室内でも管理・育成が可能だ。ミニパルダリウムのワークショップは毎日開催され、予約はホームページから。アクアリウムのワークショップも個別に受け付けている。



ジュエルオーキッドや食虫植物などから好みのメインプランツを一つ選ぶ(上)。使用した黄虎石(下左)。サブプランツの苔(下右)。



① ガラスポットに軽石、ソイルを敷き、黄虎石を置く。



② メインプランツの小型ペゴニアをピンセットを使って植える。



③ 水をかけてソイルや石を湿らせる。水分が加わると景色が変わる。



④ サブプランツのシダであるトクワシノブを植える。



⑤ サブプランツのプレミアムモスとヤマゴケを置く。



⑥ つる性の苔・フィカス・ブミラを石にはわせる。



⑦ 虫除け効果もある栄養素スプレーをして完成。ADAオリジナルのマグネットライトを当てて管理する。



当日の専門スタッフの川上さん。初心者にもわかりやすく教えてくれる。

るためには二酸化炭素の添加なども必要になります。植物の育成が悪い場合は光と温度と栄養素のバランスが取れていないことが多いので、そこを改善していけば必ず良い環境を作ることができます」とのこと。

植物や魚を育成するものはアクアリウム以外にもあり、同社ではガラスケースの中がすべて水中世界のものを「アクアリウム」、水中と陸上が混在するものを

を「アクアテラリウム」、陸上だけのものを「パルダリウム」と呼んでいる。「パルダリウム」は湿地や沼地を意味するラテン語のpalusから来ていて、苔やシダなど湿地を好む植物を育成し鑑賞する。

ネイチャーアクアリウムに興味を持って始めようと思っても、道具一式をそろえる費用や維持管理の面で少しハードルが高いかもしれない。そんな場合は「ガラスケースの中で、何か一つ

植物を育ててみてはいかがでしょう」と佐藤さん。

「私たちはミニパルダリウムのワークショップを毎日行っていて、たまたま通りがかった方が興味を持って参加されることもあります。同じ素材でも作る人によってまったく違うものができあがる面白さがあります。アクアリウムも同じで、メダカを育てたければ和風のイメージの水草を選んでみるとか、想像を膨らませながら自由を楽しめるのが魅力。制作だけでなくメンテナンスの相談も受け付けていますので、お気軽にどうぞ。

“自分だけの小さな自然”がそばにあれば、愛着が湧いて育てる喜びも増しそうだ。唯一無二の水辺の世界を楽しんでみてはいかがだろう。

● ADA LAB TOKYO
東京都千代田区丸の内1-9-1 大丸東京店10F
☎050-1782-0000 (代)
<https://ada-laboratory.com/>



ラックやショーケースには素材となる植物や流木、石などが美しく並べられ、それらを見るのも楽しい。

Nittoku Eye JAMSTECへ。

国立研究開発法人海洋研究開発機構

JAMSTEC (国立研究開発法人海洋研究開発機構) は、海洋および地球に関する科学技術の研究開発を行う日本の研究機関です。横須賀本部の一般公開に行ってきました。



▲JAMSTEC横須賀本部に停泊していた「しんかい6500」の母船「よこすか」

JAMSTECとは

有人潜水調査船「しんかい6500」や無人探査機「かいこう」などをを用いた深海調査のほか、気候変動、地震、津波など地球環境の研究や、メタンハイドレートや海底熱水鉱床などの海底資源の調査、スーパーコンピュータを用いた地球規模のシミュレーション研究など、さまざまな研究を行っています。



▲「しんかい6500」内部観覧など、さまざまなイベントが開催され、多くの人で賑わっていた。

沖合深海底海洋保護区から15種の新種生物を発見

沖合深海底の海洋保護区は、深海の生態系を保護するために指定された海域で、自然環境保全法に基づいて2020年に制定されました。この保護区に関する最新の調査結果が4月17日に発表されました。なんと15種の新種生物が発見されました。たとえば、西マリアナ海嶺の水深525mで、推定7000歳のツノサンゴの群体が発見されました。これは地球上でも最も長寿な生物の一つと考えられています。また、全長2.5mを超えるヨコヅナイワシの生息地が新たに確認され、深海固有種として最大の硬骨魚類であることがわかりました。ヨコヅナイワシは2021年に新種として正式に登録された魚で、栄養段階※1が4.9と非常に高い深海のトッププレデター※2です。このような観測をするために、さまざまな装置の開発が行われています。公開されていた研究の一部を紹介します。

「うらしま8000」自律型無人深海探査機(AUV)

「うらしま」は、有人潜水船では難しい広範囲・高精度な調査を可能にする、世界最大級のAUVであり、深海研究の最前線を担ってきました。5月に報道陣に公開され運用が開



▲会場に設置されていた世界最大級の無人深海探査機「うらしま8000」の実物

※1:「食う、食われる」という食物連鎖のこと(植物が1、草食動物が2、ライオンやシャチがおよそ4)。
※2:他の動物に捕食されない肉食動物のこと。

無人飛行艇を用いたAUVによる海洋観測・調査システム

無人の飛行艇にAUVを載せて目的地に向かい、海底探査をして戻ってくるというシステムです。日本は広大な排他的経済水域(EEZ)を持ち、海洋の産業利用や権益保護、災害対応のため、効率的かつ安全な海洋情報取得技術が求められています。従来の船舶によるAUV運搬・投入・回収は時間や人員の制約があり、危



▲「海空無人機システム」試作機

険海域での調査も困難でした。そこで、無人航空機によるAUVの自動運搬・投入・揚収技術を確認し、迅速かつ広範囲な無人海洋調査を目指しています。実現には、無人の航空機、AUVの自動投入と揚収、ミッションのコントロールシステムなど、難しい課題が多くありますが、世界的にも先進的な取り組みとして期待されています。

クローラー型探査機

従来の探査機では走行が困難だった岩場や砂地でもスムーズに移動できるよう、クローラー型の探査機を開発しています。4つのクローラーが独立して動く構造を採用し、地形に応じて柔軟に対応できるようにしています。三重県志摩沖や沖縄県石垣島周辺の深海環境で走行の実験が行われ、急な坂や高さのある障害物乗り越え、砂地でもスムーズに走行できることが確認されました。これを使い深海底の泥の採取や観測装置の設置などに活用される予定です。将来的には、深海生物の発見や資源探査が期待されています。



▲開発中のクローラー型ビークル「PICCOLO」

株式会社市川塗工店



施工技術を向上させ、元請けとして会社を発展させていきたいですね。さらに、オーナーさんの要望に耳を傾け、よりよい提案をしながら、建物の価値を上げていきたいと思っています。

代表取締役 **市川善英**



「鞍ヶ池公園」。灌漑池・鞍ヶ池を中心に、遊歩道や芝生広場をはじめ、動物園、観光牧場などの施設が点在する広大なファミリーパークで、地域の憩いの場となっている。



清潔で爽やかな事務所内部。

愛知県北部の三河地方に位置する豊田市。全国有数の製造品出荷額を誇る「クルマのまち」「ものづくりのまち」として知られる一方、森林が市域のおよそ7割を占め、豊かな自然環境に恵まれたまちの顔も持っています。

* *

その豊田市にある株式会社市川塗工店をお訪ねし、代表取締役の市川善英さんにお話をうかがいました。

■創業はいつでしょうか？

●1985（昭和60）年に私の父親が創業しました。祖父が名古屋市内で100人ぐらいの職人さんを従えて塗装事業をしていたと聞いています。その会社に勤めていた私の父親が50歳のときに独立しました。ちょうど私が20歳になった年で、法人化したのは1989（平成1）年4月です。

■豊田市で創業された理由をお聞かせください。

●父親は祖父が創業前に勤めていた会社の豊田市の出張所を任せられ、つながりが強かったようです。ただ、父親は祖父の顧客とは一切取り引きしないという考えだったので、当初は仕事が少なく、経営は厳しかったですね。1年ほどたった頃にバブル経済が崩れ始め、

家計も苦しくなり、大学の学費を半分稼ぐために、私は父親の職場でアルバイトをしていました。結局卒業後すぐに入社し、10年ほど現場で施工していましたよ（笑）。ただ、その経験はいまも見積もりの方法や工法の検討に生きています。

■下請けから元請けへの転換と廃業寸前からの復活

■社長ご就任はいつでしょうか？

●2001年です。就任当初は建設会社の下請け・孫請けがほとんどでしたが、建設会社との取引だけだと自分たちの技術や提案したい事柄がオーナーさんに伝わりません。その状況に違和感を感じて、元請けになるべきだと方向転換しました。

■そのために取り組んだことをお聞かせください。

●当社はいわば新規参入でなかなか地域になじめず、信頼関係が築けなかったのですが、青年会議所など各種団体に参加・所属し、10年ほどたつて「塗装の市川」として気をかけていただけようになりました。つながりを作っていたことで部品メーカーさんとの直接のお付き合いが始まり、徐々に変



本社事務所に掲げられている訓示。

わっていきました。ただ、5年間は仕事は激減し、東日本大震災で仕事が1年間止まったときには廃業寸前まで追い込まれました。

■転機になった出来事をお聞かせください。

●高速道路でハンドルを切れば楽になると思うほど追い詰められ、耐え切れずに、あるお客様に廃業を伝えるに行ったところ、3月に発注して着工時に工事費は全額払うから続けてくれと言われました。諦めずにいればなんとかなる（笑）。その話がなければいま会社はありません。

■経営方針をお聞かせください。

●「守り彩り価値を上げる」という言葉を掲げています。塗装したり防水し



ラグビーワールドカップ2019などの国際大会が開催され、世界中から観戦者が訪れる球技専用施設「豊田スタジアム」（左）。上は、豊田スタジアムと名鉄豊田市駅を結ぶ橋として1999年に開通した「豊田大橋」。いずれも黒川紀章氏による設計。

たりすることで建物を守り、美観を維持すること。さらにその1戸が目立つのではなく街に調和し、彩りを豊かにすること。そして最終的に資産価値を上げること。この3つの要素があれば、お客様も喜び、満足されると思います。

■現在の業務内容をお聞かせください。

●製造業の地域なので、工場やマンションのリフレッシュ工事、改修工が多いですね。屋根や外壁のほか、内部の鉄骨の塗装・施工が中心です。やはり水性塗料のニーズが大きいですね。特に大手からは環境に配慮した材料が求められています。それから遮熱・断熱などの機能性も必要です。

■ニットクとの付き合いはいつからでしょうか？

●20年ほど前だと思います。塗り床材や屋根材を使っていました。最近は夏の暑さが厳しいので、とくに屋根用遮熱塗料「パラサーモ」でお世話になっています。

■女性が活躍できる職場づくりと業界イメージの変化

■塗装業界にはどのようなものが求められているとお考えでしょうか？

●女性が活躍できる環境づくりです。昨年大卒で入社した女性が現場管理者として一戸建て住宅を担当しているのですが、両隣の奥様からうちもお願いしたいと声をかけられました。奥様はごっつい男性の職人にはなかなか話しかけられないですよ（笑）。でも女性にはちょっとした要望も言える。まさに女性の力でいい方向に変わった案件です。カラーコーディネーターの資格を持っている女性もいますし、実は次の社長候補に手を挙げたのも女性です。

■未来の女性社長でしょうか？

●私の長女です。せっかく東京の大きな会社に勤めているのにと最初は反対しましたが、何年後かわからないですが、どんな社長になっているか楽しみです（笑）。それまでに会社をいい形で

引き継ぎたいですね。

■そのためのこれからの会社のイメージをお聞かせください。

●従業員がこの会社において良かったと思える体制づくりを進めたいですね。福利厚生も含め、できる範囲のことはしてあげたいです。職人さんであれば怖いのは怪我や病気で休業ですので、全員を医療保険やがん保険に入れています。働き方改革にも取り組み、職場環境を充実させて、業界全体のイメージの向上につなげたいですね。

■座右の銘をお聞かせください。

●「有言実行」です。従業員には、何とかすると言ったら結果が出るまで最後までやり遂げると話しています。不言実行が理想ですが、自分にプレッシャーをかける意味でも言葉は必要です。

■趣味をお聞かせください。

●ゴルフと車です。車は眺めるのも運転するのも好きで、ドライブにもよく出かけます。ゴルフは月に1回は行きますね。還暦を迎えたのですが、ファッションに気をつかうのも楽しいです。

■本日はどうもありがとうございました。

[2025年6月6日、豊田市にて]

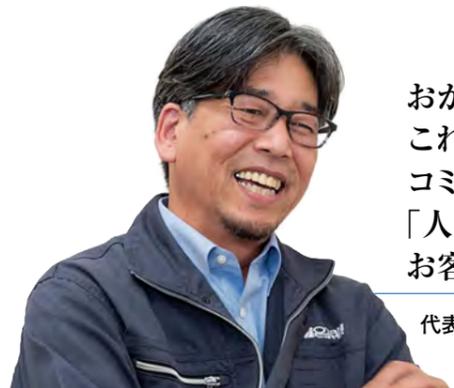
PROFILE

- 株式会社市川塗工店
(東海ニットク・アメニティシステム会員)
- 創業 / 1985（昭和60）年7月6日
- 設立 / 1989（平成1）年4月20日
- 資本金 / 2,000万円
- 代表者 / 代表取締役 市川善英
- 所在地 / 〒471-0037
愛知県豊田市三軒町2丁目26番地
電話 (0565) 37-7555
FAX (0565) 37-7556
HP : <https://ichikawa-paint.co.jp>
- 事業内容 / 塗装工事、内装・仕上げ工事、防水工事
- 従業員数 / 12名



本社社屋外観。

株式会社大谷塗料店



おかげさまで創業75周年。
これからもさまざまなツールを活用しながら
コミュニケーションを密にして、
「人と環境に優しい塗料のアドバイザー」として、
お客様のパートナーであり続けたいですね。

代表取締役 **大谷 完**



「手柄山平和公園」にある、太平洋戦争における全国の空爆犠牲者を追悼・供養する「太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔」(左)、姫路の空襲に関する資料等を展示する「姫路市平和資料館」(右)。園内には他に水族館、植物園、運動施設などがあり、市民の憩いの場になっている。



豊富なカタログを揃える本社1階事務所(左)と、入り口に並び塗装道具(右)。



「ルクスキュアF」が施工された本社社屋の外壁。「近くに寄るとラメの輝きがわかります。評判はいいですよ」(大谷社長)。

兵庫県南西部に位置し、世界文化遺産である姫路城を中心とした、美しい城下町を誇る姫路市。山陽新幹線・JR在来線・山陽電鉄が通り、大阪・神戸・岡山との連絡が良好で、観光・商業・工業がバランスよく発展してきました。現在も播磨地域の中核都市として躍進を続けています。

* *

その姫路市にある株式会社大谷塗料店をお訪ねし、代表取締役の大谷完さんにお話をうかがいました。

■創業はいつでしょうか？

●1950(昭和25)年10月です。私の祖父が、姫路駅北側の商店街で創業しました。塗料が高級品だったことで、自転車でワニスやコーラルを1日1缶運べば商売が成り立った時代です。現在の場所に移ったのは1974年。今年で創業75年になります。

■現在の業務内容をお聞かせください。

●建築汎用塗料がメインです。当初は車両用塗料や木工用塗料も扱っていましたが、建築汎用塗料に注力するため、

移転したときに車両用からは手を引きました。木工用塗料も、2代目社長だった私の父親の代までは木工家具で有名な北部の和田山に配達していましたが、家具店も減り、扱いは少なくなりました。

■ニットクとの付き合いはいつごろからでしょうか？

●やはり移転してからですから、50年以上のお付き合いです。複層模様吹付材「嵐山」が最初のようなですね。私が帰ってきたころは単層弾性仕上塗料の全盛期で、「完璧マルチ」や「シルビアサーフ」がよく出ていました。いまは屋根材が多いですね。「リリーフNADシリーズ」や「パラサーモシリーズ」などでお世話になっています。

■ご入社はいつでしょうか？

●20歳のころに1人で東京に出て行って27歳のときに戻り、入社しました。3代目社長になったのは2014(平成26)年、40歳のときです。父親が私が40歳を超えたら会社を任せると決めていたようです。

■東京での経験は現在に生きていますでしょうか？

●東京での経験がなければ、いまの私はありません。仕送りがない中で一人暮らし、知り合いのデザイン事務所でのデザインや営業などの業務経験、多くの方々との出会いや助けは私の基盤になっています。最後の2年間は、家業を継ぐために勉強しておこうという意識があったからかニットクメンテさんで現場監督助手のアルバイトをしていました。

■“御用聞き”営業からアドバイザーへ

■経営方針をお聞かせください。

●理念として「人と環境に優しい塗料のアドバイザー」という標語を掲げました。以前は塗料の種類も少なかったのですが、これからは塗料の種類も増え、ニーズも多様化します。さまざまなメーカーの商品を扱いながら、多くの情報を生かして塗料に関する

確なアドバイスをしていきたいですね。

■これからの会社のイメージをお聞かせください。

●豊富な塗料の知識を駆使し、迅速に見積もりをし、お客様が新しい仕事を開拓できるようにアドバイスをしながら、パートナーと思ってもらえるような会社を目指したいですね。

■社内での具体的な取り組みをお聞かせください。

●まず、一生懸命勉強して商品の知識を身につけることが大事です。メーカーさんによる新製品などの社内講習、勉強会を定期的に行っています。特に若い社員には、塗料に限らず、ローラーや刷毛など塗装道具についての講習も受けてもらっています。僕らは製品だけではなく信頼も売っています。知識に基づいた信用される提案がないと、価格だけで判断されてしまいます。

■コミュニケーションの大切さ

■ユーザーの変化をお聞かせください。

●以前は電話やファクスでの注文が多かったのですが、ここ5年でLINEやメールを使うことが一気に増えました。また、若い人はLINEを情報提供・共有のツールとして活用しています。お客様とのネットワークの構築方法が変わってきましたね。ただ、コミュニケーションを密にとり、いろいろな相談を受けられるアドバイザーという存在価値は生かし続けたいと思います。

■これからの塗料にはどのようなものが求められるとお考えでしょうか？

●多彩な付加価値をつけるべきだと思います。いまは耐候性が中心ですが、テクチャーにこだわったり、他のメーカーと違う点に着目したりすることが必要です。例えば、ラメを使ったニット

クさんの「ルクスキュアF」のような新製品をどんどん市場に展開できれば業界も多様化し、変わってくると思います。

■座右の銘をお聞かせください。

●「敵は己の中にあり」です。人生は常に勉強だと思いますし、完璧な正解はありません。自分の判断は間違っていないか、いまのままでもいいのか、いつも自らに問うています。克服すべきものは自分の中にあるということです。自信がないのかもしれませんが(笑)。

■趣味をお聞かせください。

●ゴルフです。自宅の庭にあるオリーブやユーカリなどの樹木の世話も好きです。庭いじりは無心でできるので気分転換になりますね。一時的でも没頭できるものがあれば、ふと新しい発想が湧いてくる時があります。そのような趣味は大事にしたいですね。

■本日はどうもありがとうございました。

[2025年5月27日、姫路市にて]

PROFILE

- 株式会社大谷塗料店
(近畿・北陸ニットク・アメニティシステム会員)
- 創業/1950(昭和25)年10月
- 設立/1966(昭和41)年7月
- 資本金/1,000万
- 代表者/代表取締役 大谷 完
- 所在地/〒670-0982
兵庫県姫路市岡田36
電話(079)294-5163
FAX(079)294-5165
HP: <https://otani-p.net/index.html>
- 営業種目/塗料及び塗装関連副資材・塗装機器の販売
- 従業員数/13名



姫路のシンボル「姫路城」の連立式天守(左)。1993年、法隆寺とともに日本初の世界文化遺産に登録された、日本を代表する名城で、白鷺が羽を広げて舞っているように見えることから「白鷺城」の別名がある。よく保存されている石垣や白漆喰総塗籠造の外観も美しい(右)。



◀本社屋外観。

アイワ工業株式会社

トップダウンでもボトムアップでもなく、みんな一緒に。
従業員が最高のパフォーマンスができるように、
ストレスのない職場環境を実現して、
九州ナンバーワンの防水工事店を目指します。

代表取締役社長 菊村孝輝



はるか大海原を眺望でき、波が穏やかな日にはイルカが現れる日南海岸の「いるか岬」周辺。干潮時には、地元では「鬼の洗濯板」と呼ばれる隆起海床が現れる。



宮崎県庁。ネオ・ゴシックの重厚な外観と流麗な装飾が印象的な、国の有形文化財。玄関ロビーは県下で採石した大理石が使われ、階段の手すりにはサンゴなどの化石が見られる。



九州東部の日向灘に面する宮崎市の中央部にある宮崎市。温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、宮崎牛やマンゴーなど名産品も豊富にあります。プロスポーツのキャンプ地としても有名で、年間を通じマリンスポーツやゴルフなども気軽に楽しめる魅力的な都市です。

* *

その宮崎市にあるアイワ工業株式会社をお訪ねし、代表取締役社長の菊村孝輝さんにお話をうかがいました。

■創業はいつでしょうか？

●1981（昭和56）年です。現会長の白地幸男が創業しました。創業する前は建築資材専門商社でシートや笠木などの販売営業をしていたようです。社名の由来は、電話帳の最前列に載る名前を考えたと思っています。

■現在の業務内容をお聞かせください。

●当初はシーリング工事のみでしたが、創業から数年後、防水工事を経験した職人さんが入社し、防水工事や外壁改修の分野に進出しました。現在は建築や土木の防水から塗装、改修まで、幅広い工事を請け負っています。

■入社のきっかけをお聞かせください。

●知人の紹介で1992（平成4）年に入社しました。入社前にすでに10くらいの業種を経験していましたが、シーリング工事は全然知りませんでした（笑）。そんななか、入社後すぐに行ったのが奄美の徳之島空港。最初の仕事はエプロン（航空機の駐機場）のコンクリートのつなぎ目の目地のシーリングでした。

■“上から目線”ではなく、社員と一緒に仕事に取り組む

■印象に残っている出来事、物件をお聞かせください。

●現会長から1997年に県北に営業所を出すと言われ、日向営業所をゼロから立ち上げたことでしょうか。飛び込み営業のノウハウも知らない中、たまたま出会った年配の方が企業の会長さんだったり（笑）、いろいろな方と知り合いながら口コミで仕事をいただけるようになりました。日向には22年いましたが、同業者が多い激戦区で、日向市役所庁舎という大きな物件を納めたときは本当にホッとしました。

■社長就任はいつでしょうか？

●2019（令和1）年に日向営業所から



本社入口。左に倉庫、奥に見えるのが本社社屋。

本社に戻り、1年後に突然会長から言われました（笑）。50歳のころです。

■経営方針をお聞かせください。

●会長から引き継いだ大義名分「従業員のため、お客様のため」です。週休2日制の実現、福利厚生充実など、時代の流れに合わせています。社員あっての会社ですし、社員を大切にしていれば口伝えで人が集まってくる。当社は先月も若い子が入社しました。

■社員の要望に沿うということでしょうか？

●社員一人ひとり性格が違いますし、各々が自由に仕事に取り組むのが最善だと思います。アメーバ経営的に各自に任せる形です。売上・利益を増やすという目標は1つですが、営業や施工

の方法は1つではありません。私も1人の従業員という姿勢で一緒に混ざって意見を聞き、わからないことがあったら手伝っています。自律的になればやりがいも感じます。実際に売上は伸びてきていますし、職場も話しやすい空気になりました。

■ストレスのない職場環境づくり

■これからの会社のイメージをお聞かせください。

●まず社員全員がストレスなく働ける環境づくりですね。社員や職人さんのストレスが軽減し、最高のパフォーマンスができる環境を作れば、結果的に九州ナンバーワンになれると思います。

■お感じになっているお客様のニーズの変化をお聞かせください。

●最近AIを活用すればだれでも材料や工法を調べられます。当社の防水材はニットクさんがメインですが、他社の製品と比べて意見するお客様が増え

ました。結局、私たち他のメーカーの工法や材料の勉強をしなければならなくなりました。大変ですが勉強になるのでいいことかもしれません。

■ニットクとの付き合いはいつごろからでしょうか？

●16年ほど前ですね。ある改修工事でそれまでお付き合いしていたメーカーさんの製品では保証できない案件をニットクさんに解決していただき、以来、ウレタン塗膜防水材「ブルーフロン」でお世話になっています。

■これからの業界にはどのようなものが求められるとお考えでしょうか？

●いま、現場は世代交代しています。新しい人は現場での不具合にどう対処しているのか最初はわかりません。慌ててパニックになって、ミスが大きくなります。過去の事故例・失敗例と対処方法を説明したマニュアルをメーカーさんに作ってもらえると助かります。また、仕様書にこだわり、臨機応変に対応できない人もいます。工事店の説



明るく開放的な本社事務所。

明だけでは納得されない場合も多いので、下地に対する適材適所などの手引書があれば便利だと思います。

■座右の銘をお聞かせください。

●「心身ともに健康」です。お金と時間があっても、病気が怪我をしたら何も達成できませんし、楽しめません。不安になったり物事を悪い方向に考えたりします。心身ともに健康が一番です。

■趣味をお聞かせください。

●マリンスポーツとツーリング、たまにゴルフです。休日はバイクで山に行って海岸線を走って、いい波だったら板を持って海に出たり、波がないときはダイビングで潜ったり。県北にいた頃は阿蘇を回って大分に行っていました。日南の海岸線も気持ちいいですよ。

■本日はどうもありがとうございました。

[2025年7月9日、宮崎市にて]

PROFILE

- アイワ工業株式会社
(九州ニットク・アメニティシステム会員)
- 創業 / 1981（昭和56）年10月1日
- 資本金 / 2,000万円
- 代表者 / 代表取締役社長 菊村孝輝
- 所在地 / 〒880-2213
宮崎市高岡町上倉永2863番地1
電話 (0985) 65-5855
FAX (0985) 82-1510
HP : <https://aiwa-kougyo.com>
- 営業種目 / 建築防水工事、土木防水工事、塗装工事、石綿含有建材調査
- 従業員数 / 38名



本社社屋外観。



眼前に雄大な日向灘が広がる「鶏戸神宮」。朱塗りの本殿は、海に突き出た岬の洞窟内に鎮座し、神秘的な雰囲気にも包まれている。参道からは奇岩が立ち並ぶ様子が見える。2017年に鶏戸神宮を含む一帯が「鶏戸」の名で国の名勝に指定。



●お知らせ 第119期「定時株主総会」を開催

6月24日、東京都豊島区のホテルベルクラシック東京にて、第119期定時株主総会を開催いたしました。梅雨空の中、多くの株主の皆様にご出席いただき、心より感謝申し上げます。



▲総会受付

総会は、議長の遠田社長による開会挨拶から始まり、2025年3月期（第119期）の実績報告では、売上高や営業利益が過去



最高を記録したことが共有される一方で、2026年3月期は減収減益の見通しであること、そしてROE改善などの課題について

でも率直な説明があり、会社全体でこれらの課題に取り組む決意が示されました。その後、2029年の創立100周年に向け



▲議長として、議事を進行する遠田社長

た新たな中期経営計画の概要について、経営の変革や資本効率の改善、さらにはサステナビリティ推進といった重点施策の推進により、持続的な成長を目指していくこと等を説明し、株主の皆様にも理解を深めていただくことができたと考えています。

議案の審議では、剰余金の処分案や定款変更案（取締役任期を2年から1年に短縮）などが上程され、いずれも株主の皆様のご賛同を得て承認されました。とくに取締役選任については、現任の6名の取締役が再任されるとともに、当社初の女性社外取締役が新たに選任されました。

新たな体制のもと、多様な視点を取り



入れたガバナンスのさらなる強化を図るとともに、引き続き全員が一丸となって企業価値の向上と持続的な成長に努めてまいります。皆様のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

●お知らせ 投資家向けの決算説明会を開催 —過去最高の業績と新たな中期経営計画を共有—

5月30日、当社は機関投資家やアナリストを対象にオンラインで決算説明会を実施しました。

説明会では、2025年3月期は、塗料関連事業において工事関連売上が伸長したことが寄与し、売上高・営業利益ともに過去最高を達成したこと、2026年3月期は、塗料事業における工事関連売上の平準化や原材料費の高騰、人材投資の増加などが影響し、減収減益を見込んでいる

ことに加え、こうした課題を踏まえた新たな中期経営計画（2026年3月期～2030年3月期）においては、塗料事業での高付加価値製品の開発と市場シェア拡大、自動車製品事業での収益構造改革や環境負荷低減技術の推進を重点的に進め、ESG経営の強化と合わせて持続的な成長基盤の構築を目指すこと等を説明しました。

質疑応答は予定時間を超過し、新たな中期経営計画への理解を深めていただけたと考えています。今後も社内外の皆様と積極的に対話を重ね、経営の透明性向上と企業価値の最大化に努めてまいります。



【2026年3月期 業績予想（連結）】

- 売上高：630億円
- 営業利益：27億円
- 経常利益：51億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益：40億円

◀説明会の書き起こし全文はこちら
Yahoo!ファイナンスにて公開中



（スマートフォンでQRコードを読み取ってご覧ください）



▲遠田社長COO

▲力武常務執行役員COO

●お知らせ 「海ごみゼロウィーク2025」に参加

「海ごみゼロウィーク」とは、日本財団と環境省が推進している海洋ごみ削減に向けた全国一斉清掃活動です。海に流出するごみの約8割は陸（街）由来とされ、いちど海に流出したごみを回収すること



▲活動前の説明会



▲活動風景

は困難です。海洋ごみ問題の周知啓発とともに、海洋ごみの流出を少しでも防ぐことを目的としています。

6月7日、この活動に当社と開発センターの有志35名が参加しました。

近くに隅田川が流れる東京都北区豊島にある開発センター周辺の清掃活動を実施しました。初夏を感じる気温の中、約1時間半、汗だくになりながらたくさん



▲活動風景



▲参加した当社社員と集めたごみ



ごみを回収することができました。

活動中には、地域の方から「ありがとう」や「お疲れさま」の声を掛けていただきました。ごみを出さない、ごみを捨てない、ごみを拾う。今後も継続して活動していきます。

●お知らせ
「ラジオCM」放送を始めました。

4月より東京FMにて、ラジオCMを始めました。
放送日程は毎週2回、日曜日の14時54分ごろと月曜日の21時59分ごろです。なお、各日のCMは、違うものが流れます。

皆様ぜひ一度お聴きください。
ラジオはスマートフォンからでも聴くことができるようになり、若年層のリスナーも多くなっています。また、ドライブ中に聴くリスナーが多いことから、自

自動車用防音材を扱うユニットとも親和性があります。



今回のCMは、主に自動車製品事業本部のエンジニア募集の内容です。ラジオCMをきっかけとして、今後も人材の獲得、認知度向上、地域コミュニティとの関係を深められればと考えています。

●お知らせ
「消防行政特別協力章」「関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰」を受賞

このたび東京消防庁・消防総監より「消防行政特別協力章」を、東京防災救急

協会・理事長より「関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰」をいただき

ました。
王子消防署・河本署長より、「消防行政特別協力章」は令和4年に受領した消防協力章の上位章であり、地域協力に関する表彰としては最高賞にあたること。王子消防署としても、このような表彰をできることはたいへん名誉なこととお言葉をいただきました。
今後も地域に貢献できるよう、継続して努めてまいります。



■自動車製品事業本部
静岡工場に「太陽光発電パネル」を導入

静岡工場は、自動車用防音部品を生産する工場であるため、プレス機などの電気設備が多く、CO2排出量のうち電気が

占める割合が多くなっています。今回、CO2排出量削減を対策として、太陽光発電パネルを設置しました。

2024年10月キックオフを行い2月から稼働を開始しました。今後もCO2排出量削減に向けて取り組んでいきます。



▲RUL第1工場



▲RUL倉庫



▲厚生棟

■自動車製品事業本部
タイ・SRN「創立20周年」記念式典を開催

ユニットのタイ拠点として日系自動車メーカーに内外装防音部品を生産・供給しているSRN SOUND PROOF社は、2025年1月11日に創立20周年を迎えることができました。

2005年の会社創立以来、さまざまな苦難がございましたが、お客様、取引先様に支えられ、記念すべき日を迎えられたことに心より感謝しています。また、会社の発展にご尽力された株主様、駐在の先輩方、従業員の方々にも感謝申し上げます。

創立記念日当日は、社内にて従業員の健康と安全、会社のますますの発展を祈願して9人の僧侶による読経とささやかな記念式典を開催いたしました。また、3月



6日には株主総会に合わせ、タイの株主であるSUMMIT AUTO SEAT社のアピチャート社長、グローバルパートナーのAUTO NEUM社 SPOELDER CEO、WIEHL CFO、KOLF氏、KLIEBER氏、日本特殊塗料からは、田谷会長、桜井執行役員にご参加いただき、たいへん和やかな20周年記念ディナーを開催することができ



ました。
足元ではタイ自動車産業は、家計債務問題から自動車ローンの審査が厳格化されたことにより自動車販売が大きく落ち込み、国内の自動車生産は2020年のCOVID-19や2011年の大洪水と同水準の150万台を下回るたいへん厳しい環境となっています。しかし、そのような環境にあっても従業員一同、将来に向かって着実に前進しています。皆様にはさらなる会社の発展をお約束するとともに、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

■自動車製品事業本部
タイ・SNC新倉庫に太陽光パネルを設置

新倉庫の建設が完了し、屋上に太陽光パネルを設置しました。

SNCには2つの工場があり、自動車向け制振材、防音材を生産しています。工



場のあるチョンブリー県の緯度は北緯13度に位置しており、日照時間が長く太陽仰角が高いことから、太陽光パネルによるたくさんの発電が期待されます。

太陽光パネルについては、2021年7月、2022年6月に続いての設置です。同じチョンブリー県にあるSRNでも、2021年8月、2025年5月に設置しており、今回太陽光パネルだけでも、30万kWh/年以上の発電が期待されます。

今後も、環境負荷低減と安定生産に向けて取り組んでまいります。



■塗料事業本部
「マルモフェア2025」に出展

森商事は創業75年を迎えられ、3月7日、8日に「マルモフェア2025」を東京流通センターにて開催されました。



当社は防水材メーカーブースにて、ポリウレタンのクラック充填剤「イソシールAC」やウレタン防水材「ブルーフロンエコHG」などを紹介しました。「ブルーフロンエコHG」では、従来のウレタンと比べて塗膜強度の違いがわかるサンプルを使って体感いただける展示を行い、たくさんのお客様より関心を持っていただくことができました。



▲ニットクブース

新 製 品 紹 介

■塗料事業本部
 窯業系屋根塗り替え用 1液水性特殊アクリル樹脂プライマー
「TMRプライマー」

今回開発した「TMRプライマー」は、既存塗膜があるときに使用する水性プライマーです。

薄形化粧スレート、スレート屋根、厚形スレート屋根の塗り替えに使用します。瓦用の下塗りでも既存塗膜の表面劣化による微細なひび割れなどを充填します。さらに、上塗りの吸い込み防止効果があり、下地調整機能も併せ持っています。

既存塗膜 (TM) があ〜 (R) ときに使用するプライマーが、製品名の由来となっています。

■特長

①幅広い既存塗膜に適用

付着性に優れた高極性官能基を持つ特

殊樹脂を採用。エポキシ樹脂に引けを取らない付着力で幅広い既存塗膜に適用します。

②優れた耐水性と上塗り適応力

自己反応硬化型樹脂により強靱な塗膜を形成。屋根塗料として必須性能である耐水性に優れ、耐溶剤性にも秀でることから水性・溶剤形の多くの上塗り塗料に使用できます。

③下地調整機能による良好な仕上がり性

一定の膜厚を確保することができ、劣化で生じた下地の凹凸を滑らかな面に修復します。上塗りの仕上がり性向上とともに、雨水の流れをスムーズにします。

④環境配慮製品



1液水性塗料で環境に配慮した塗料のため、低臭で使い勝手が良く、ローラー、スプレー塗装、作業性に優れた塗料です。

■荷姿

●TMRプライマー (標準色: グレー、ブラック)……15kg

■塗料事業本部
「東京マルテーフェア」に出展

大塚刷毛製造㈱の「創業110周年記念マルテーフェア」が2025年も全国各地にて開催されました。関東地区は3月22日、23日に「東京マルテーフェア in サンシャインシティ」が開催され、多くの塗料メーカーや建築資材メーカーが出展されて

いました。

2日間で来場者は3,000人、当社はウレタン防水材「ブルーフロンバリューDX」、屋根材「パラサーモ」関係を中心に展示を行い、多くのお客様にお立ち寄りいただきました。



▲ニットクブース

休日でしたが、普段なかなかお会いできないお客様とも直接お会いすることができました。



■DIY販売部
 簡単に使えるコーキング材「スキマコーク」

日常の「ちょっと気になる隙間」に！
 DIYで簡単に使える新しいコーキング材が登場。

住宅内のわずかな隙間が気になっていませんか？ フローリングと壁のスキマや、巾木やクロスと床材の隙間、窓枠やドア枠の隙間など、日常生活でふとしたときに気付くスキマを、美しく、しっかり埋める「スキマコーク」を発売しました。

一般の方でも簡単に扱えるDIY向けに開発したもので、手軽に快適な住環境を整えることができます。水性ポリウレタン樹脂を採用し、溶剤系製品に比べて安全性が高く、取り扱いも容易です。さらに速乾性、接着性に優れ、硬化後の痩せが少ないため、見た目も美しく仕上がります。

“気になるけど手をつけにくかった” 小さな隙間も、これ一つでスッキリ解決。DIY初心者にもおすすめの、次世代型コーキング材をぜひお試しください。



▲施工中



▲中身

- 容量：150g
- 色相：ホワイト、グレー
- 用途：塩ビシートの入隅・出隅部分、巾木やクロスと床材の隙間、フローリングの隙間、窓枠の隙間、ドア枠と壁の隙間、天井との接合部、その他建築資材間の細かい隙間の充填

塗料事業本部
「第30回フジミフェア」に出展

4月19日、神奈川県小田原市の小田原アリーナにて「第30回フジミフェア」が開催されました。

「フジミフェア」は(株)フジミが主催する年に一度の大きなイベントです。当社は屋根材「パラサーモ」、外壁材「シルビア」、防水材「ブルーフロン」、塗り床材

「ユータック」の展示を行い、多くのお客様にお立ち寄りいただきました。

屋根用遮熱塗料「パラサーモ」と断熱・遮熱システム「パラサーモシールド」の遮熱効果、断熱効果が温度で見える展示や、1液水性有機・無機ハイブリッド樹脂外壁材「シルビア1液ハイブリッドセ

ラ」の汚れにくさを実験した映像を展示しました。

驚きの声をいただくとともに、さまざまな高付加価値製品を実感していただくことができました。



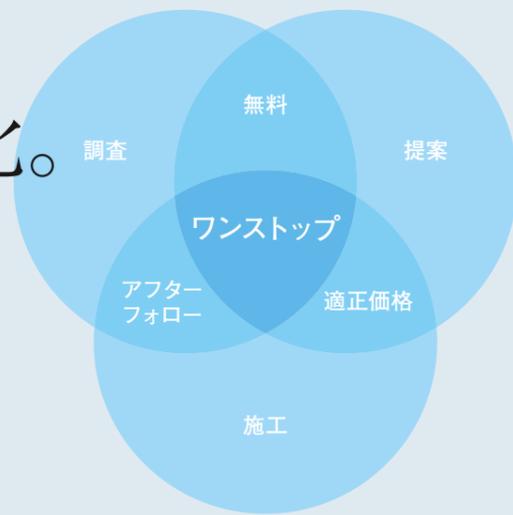
▲多くの人で賑わう会場



ニットクブース▶

企業の営繕担当者様へ 塗装・防水・塗り床の改修に関するご相談を承ります。

無料の施設診断で
 建物の劣化を可視化。



1 ニットクは、改修塗料の専門家として、企業が持続可能な成長を遂げるためのお手伝いをさせていただきます。

2 自動車分野、航空・宇宙産業の経験を生かした、最先端の技術と信頼の実績に裏付けられた建築用塗料をご提案します。

3 全国490社を超えるプロ集団「ニットク・アメニティシステム連合会」会員による安心の施工をお約束します。

ホームページ・塗料事業本部「お問い合わせ」からお気軽にご相談ください。
<https://www2.nttoryo.co.jp/>



街を彩るニットクの製品



■Village by VOREAS (北海道)
 超速硬化ウレタ・ウレタン系塗膜防水材スプレーシステム「NTスプレータイプS」/520㎡
 施工/㈱アイ・ディー・エフ



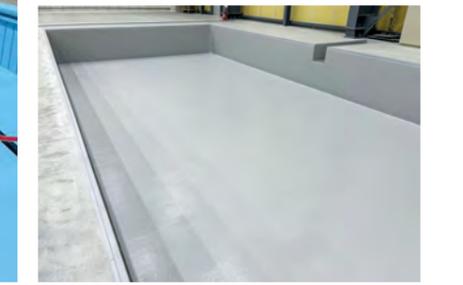
■第二5条ビルマンション (北海道)
 建築外装用塗料「シルビアサーフ」+「ハイブルーフ上塗WS」/2,624.5㎡
 上裏天井用塗り替え仕上げ材「シルビアノキクリーン」/660㎡
 施工/㈱アイ・ディー・エフ



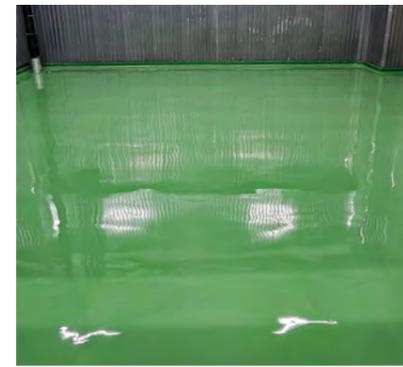
■北海道釧路養護学校 (北海道)
 プール用塗料「プールエース」PEU RA-MI工法/386㎡
 建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュウ」X-2工法/246.6㎡
 建設/萬木建設(株)
 施工/上村塗装(株)



■宮城県水産高等学校 (宮城)
 プール塗料「プールエース#300」PEU-3 RA-MI工法/550㎡
 施工/㈱阿部塗装工業



■某工場洗浄装置ビット内面塗装 (栃木)
 塗り床材「ユータックVE-100」2プライライニング工法/184㎡
 施工/㈱タナカペインティング



■ニチレイロジスティクス水戸 (茨城)
 水性硬質ウレタン系塗り床材「ユータックコンプリート」CPMGU-6F工法/280㎡
 施工/古賀工業(株)



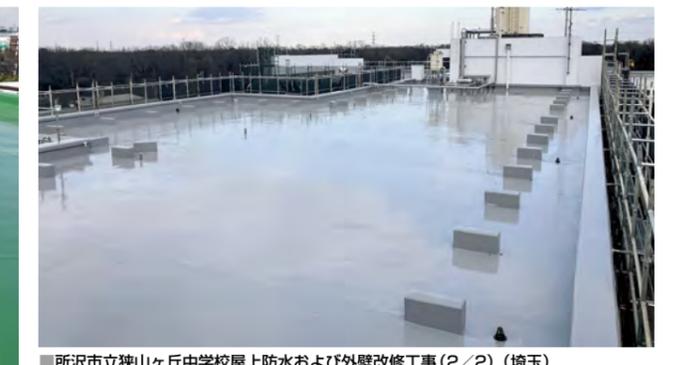
■銀星の家 (茨城)
 水性硬質ウレタン系塗り床材「ユータックコンプリート」CPGL-6N工法/80㎡
 施工/古賀工業(株)



■某撮影スタジオ改修工事 (埼玉)
 塗り床材「ユータックR」コーティング工法/120㎡
 施工/㈱愛知レジシ



■武蔵野中学校校舎屋上防水・柔剣道場屋根修繕 (埼玉)
 建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-1工法/813㎡
 建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-2工法 (平場)/429㎡
 建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG NS」X-2工法 (立上り)/399㎡
 建設/㈱山下工務店
 施工/㈱ダイショウ塗装



■所沢市立狭山ヶ丘中学校屋上防水および外壁改修工事 (2/2) (埼玉)
 建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-1工法/854㎡
 建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-2工法 (平場)/429㎡
 建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-2工法 (立上り)/210㎡
 建設/アポロ工業(株)
 施工/㈱ビーワークス

街を彩るニットの製品



■マンションランドエンブレム大規模改修工事(神奈川)
陶磁器タイルクリヤー塗料「タイルピカ」/1,086㎡
建築外用塗料「シルビアサーフ」+「シルビアWS#300」/869.1㎡
シート防水材用保護塗料「ルーフガード」シルバー/434.7㎡
施工/㈱AzTag



■平塚市某工場塗り床改修工事(神奈川)
塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ工法
2mm厚/900㎡
施工/㈱ナカムラ



■某製造工場床改修工事(愛知)
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工法/500㎡
施工/㈱愛知レジン



■機械工場改修工事(愛知)
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工法/3,000㎡
塗り床材「ユータックE-30N」樹脂モルタル流し展べ工法/1,500㎡
施工/小田建塗工業㈱



■加工工場新築工事(愛知)
塗り床材「ユータッククリーンE厚膜」SD-1工法/1,000㎡
建設/神野建設㈱
施工/㈱斎藤塗工店



■秦野市某工場塗り床改修工事(神奈川)
塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ工法2mm厚/2,000㎡
建設/㈱もがみ建築
施工/㈱AzTag



■中井町某野球場スタンド改修工事(神奈川)
超速硬化ウレタ・ウレタンゴム系塗膜防水材スプレーシステム「NTスプレータイプS」NS-SH20UTR工法/1,300㎡
施工/㈱AzTag



■厚木市某工場ウレタン塗膜防水(神奈川)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」
PN-V30G工法/750㎡
施工/㈱AzTag



■公立陶生病院北棟外壁タイルおよび屋上防水改修工事(愛知)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-1工法/1,900㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG」PXTg-HG20WG工法/630㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG」PXHG-30WG工法/70㎡
建設/沢田建設㈱
施工/カトー建材工業㈱



■ショッピングモールリニューアル工事(愛知)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-1工法/1,100㎡
水性硬質ウレタン系塗り床材「ユータックコンプリート」CPL-6N工法/150㎡
建設/豊構建設工業㈱
施工/新生建工㈱



■MPM屋根・外壁改修工事(神奈川)
屋根用遮熱・断熱・防音塗料「パラサーモシールド中途」+屋根用遮熱塗料「パラサーモSi」/1,100㎡
施工/㈱エル



■横浜市戸塚区某ビルウレタン塗膜防水(神奈川)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」PN-D30G工法/909㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」PM-D20G工法/451.8㎡
施工/㈱AzTag



■岡崎市島坂保育園屋根改修工事(愛知)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG MID」密着工法/1,200㎡
建設/㈱鶴田工務店
施工/㈱たつみ



■豊田市某工場(愛知)
屋根用遮熱塗料「エポラオールプライマー遮熱」+「パラサーモF」
/4706.4㎡
元請・施工/㈱市川塗工店



■横浜市旭区スーパー駐車場床工事(神奈川)
超速硬化ウレタ・ウレタンゴム系塗膜防水材スプレーシステム「NTスプレータイプH」
NC-SH30UTR工法/1,500㎡
施工/㈱ナカムラ



■マンションサントラビータ大規模改修工事(神奈川)
陶磁器タイルクリヤー塗料「タイルピカ」/1,000㎡
屋根用塗料「シングルプライマー」+「水性ルーセラ」/250㎡
施工/㈱AzTag



■H邸外壁・屋根改修塗装工事(愛知)
建築外用水性ハイブリッド無機樹脂塗料「シルビアセラティーン」標準仕様/200㎡
屋根用遮熱塗料「パラサーモSi」標準仕様/180㎡
施工/カトー建材工業㈱



■某工場床新築工事(岐阜)
水性硬質ウレタン系塗り床材「ユータックコンプリート」CPS-3F工法
/1,800㎡
施工/東海レジックス㈱



■某テーマパーク床改修工事(三重)
カラー舗装材「ユータックUグラウンドコート」カラー
工法/50㎡
施工/㈱愛知レジン

街を彩るニットクの製品



■三重交通志摩営業所外装改修工事(三重)
建築外装水性ハイブリッド無機樹脂塗料「シルビアセラテ
ィーN」/700㎡
建設/日本土建(株)
施工/衛土谷塗装工業所



■遠山病院北館および本館北面外壁改修工事(三重)
建築外装水性ハイブリッド無機樹脂塗料「シルビアセラテ
ィーN」/1,100㎡
施工/衛土谷塗装工業所



■マルエイ四日市(三重)
塗り床材「ユータックスーパーハードN」ハード
流し展べ防滑工法/400㎡
施工/アサヒカラコン(株)



■大阪市内某小学校プール塗装工事①(大阪)
プール用塗料「プールエース」PEU-1工法/450㎡
施工/㈱エスピー



■大阪市内某小学校プール塗装工事②(大阪)
プール用塗料「プールエース」PEU-1工法/470㎡
施工/㈱エスピー



■堺市某屋根塗装工事(大阪)
屋根用塗料「リリーフNADシリコン」/1,650㎡
施工/㈱永井英塗装



■オーティティーロジスティクス栗東流通センター(滋賀)
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工法/4,617㎡
塗り床材「ユータッククリーンE厚膜」SD-1工法/412㎡
建設/稲葉工業(株)
施工/㈱Ha・ya・te



■一正蒲鉾関西工場(滋賀)
水性硬質ウレタン系塗り床材「ユータックコンプリ
ート」CPGL-6N工法/262㎡
施工/㈱Ha・ya・te



■草津駅西口自転車駐車場(滋賀)
水性硬質ウレタン系塗り床材「ユータックコンプリート」CPGM-4N
工法/458㎡
塗り床材「ユータックスーパーハードN」流し展べ防滑工法/866㎡
施工/㈱Ha・ya・te



■池島配水場防食被覆工事(大阪)
超速硬化ウレタ・ウレタンゴム系塗膜防水材スプレーシ
ステム「NTスプレータイプU」ERP工法/2,400㎡
施工/㈱ハマシン



■ニチレイロジスティクス関西北港物流センター(大阪)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリューDX」PN-VD30GS工法/1,524㎡
建設/㈱コウワ
施工/新和防水



■エヌアール千本南(大阪)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」PN工法/200㎡
施工/㈱建塗工房



■某食品工場(京都)
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工法・防滑工法/255㎡
施工/㈱マエダ化研



■京都市立小野小学校(京都)
塗り床材「ユータックFエコ」
流し展べ防滑工法/100㎡
施工/アサヒカラコン(株)



■京都市立小野小学校(京都)
塗り床材「ユータックFエコ」
流し展べ防滑工法/100㎡
施工/アサヒカラコン(株)



■ラフォーレ桜井屋上防水改修工事(大阪)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG」X-1工法/332㎡
施工/㈱マエダ化研



■エバーグリーン福島店(大阪)
水性硬質ウレタン系塗り床材「ユータックコンプリート」
CPM-4N工法/150㎡
建設/㈱中西商会
施工/アサヒカラコン(株)



■エヌアール千本南(大阪)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」PN工法/200㎡
施工/㈱建塗工房



■京都市立鏡山小学校(京都)
プール用塗料「プールエース」PEU-1 RA-E工法/441㎡
プール用塗料「プールエース」PEU-1 RA-RC工法/60㎡
施工/㈱日建、㈱マエダ化研



■ジェイテクトマシンシステム結崎工場(奈良)
塗り床材「ユータックE-30N」樹脂モルタル流し展べ工法/200㎡
施工/アサヒカラコン(株)



■ホソカワミクロン五條工場(奈良)
塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ工法/400㎡
建設/㈱田原建設
施工/アサヒカラコン(株)



■光菱電機(兵庫)
水性硬質ウレタン系塗り床材「ユータ
ックコンプリート」CPG-4F/200㎡
施工/古賀工業(株)



■ダイナックス工業第一工場(兵庫)
水性硬質ウレタン系塗り床材「ユータックコンプリート難黄変
BIO」U-3F工法/290㎡
施工/油研化学(株)



■川尻温水プール水槽塗装改修工事(広島)
プール用塗料「プールエース」鋼製プール標準施工仕様(クリアー
仕上げ)/459㎡
施工/㈱新興建設

街を彩るニットの製品



■某診療所駐車場防水改修工事(広島)
超速硬化ウレタ・ウレタンゴム系塗膜防水材スプレーシステム「NTスプレータイプH」NC-SH30UTR工法/1,880㎡
施工/㈱ビルドウェザー



■ハムラ新事務所(広島)
建築外装水性ハイブリッド無機樹脂塗料「シルビアセラティ-N」遮熱
施工/㈱ハムラ



■ハムラ新事務所駐車場(広島)
カラー舗装材「NTロードバインダー」A-1粒 すべり止め工法
施工/㈱ハムラ



■大牟田市立羽山小学校プール水槽塗装工事(福岡)
プール用塗料「プールエース#300」/520㎡
施工/㈱森田塗装工業



■田主丸小学校中教室棟外壁改修工事(福岡)
省エネ外断熱塗装システム「NTダンネツコート」+建築外装用遮熱塗料「水性パラサーモ外壁用」/980㎡
施工/㈱H&Y、㈱いとう工房JV



▲施工後



▲施工後



▲施工前



▲施工後

■某ビル屋上防水改修工事(広島)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG」PME-DHG25S工法/203㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG」PMET-DHG20S工法/33㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG」PMT-DHG20S工法/40㎡
施工/マーテックス㈱



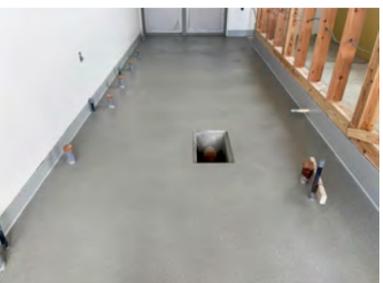
■シントラスト夢美苑(福岡)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」+「ブルーフロンエコHG」複層工法 PM-DHG25S工法/1,754㎡
施工/㈱エイケン



■リサイクルショップACB諫早店改修工事(長崎)
建築外装用塗料「シルビアNADフッ素」/1,200㎡
建築外装用塗料「シルビア」液ハイブリッドセラ/900㎡
屋根用遮熱塗料「パラサーモF」/5,200㎡
施工/㈱鳴滝



■某厨房(長崎)
水性硬質ウレタン系塗床材「ユータックコンプリート」CPM-4N工法/100㎡
施工/㈱豊和



■大石青盛堂山浦工場屋根改修工事(佐賀)
屋根用遮熱・断熱・防音塗料「パラサーモシールド中塗」+「パラサーモシールド上塗」/3,000㎡
元請/㈱アールアンドシー
施工/㈱一正塗装工業



■某工場駐車場防水改修工事(広島)
超速硬化ウレタ・ウレタンゴム系塗膜防水材スプレーシステム「NTスプレータイプH」NC-SH30UTR工法/3,928㎡
超速硬化ウレタ・ウレタンゴム系塗膜防水材スプレーシステム「NTスプレータイプH」NC-SH30UTR工法 重防滑仕様/400㎡
施工/㈱ビルドウェザー



▲施工前



▲施工後



■M様邸(福岡)
建築外装水性ハイブリッド無機樹脂塗料「シルビアセラティ-N」/160.5㎡
施工/㈱福岡ペイントArt



■N様邸塗り替え工事(福岡)
建築外装水性ハイブリッド無機樹脂塗料「シルビアセラティ-N」/150㎡
施工/㈱H&Y



■N様邸塗り替え工事(福岡)
建築外装水性ハイブリッド無機樹脂塗料「シルビアセラティ-N」/200㎡
施工/㈱H&Y



■某第二工場新築工事(熊本)
塗床材「ユータックE-30N」流し展べ工法/1,800㎡
施工/㈱駿河コーポレーション

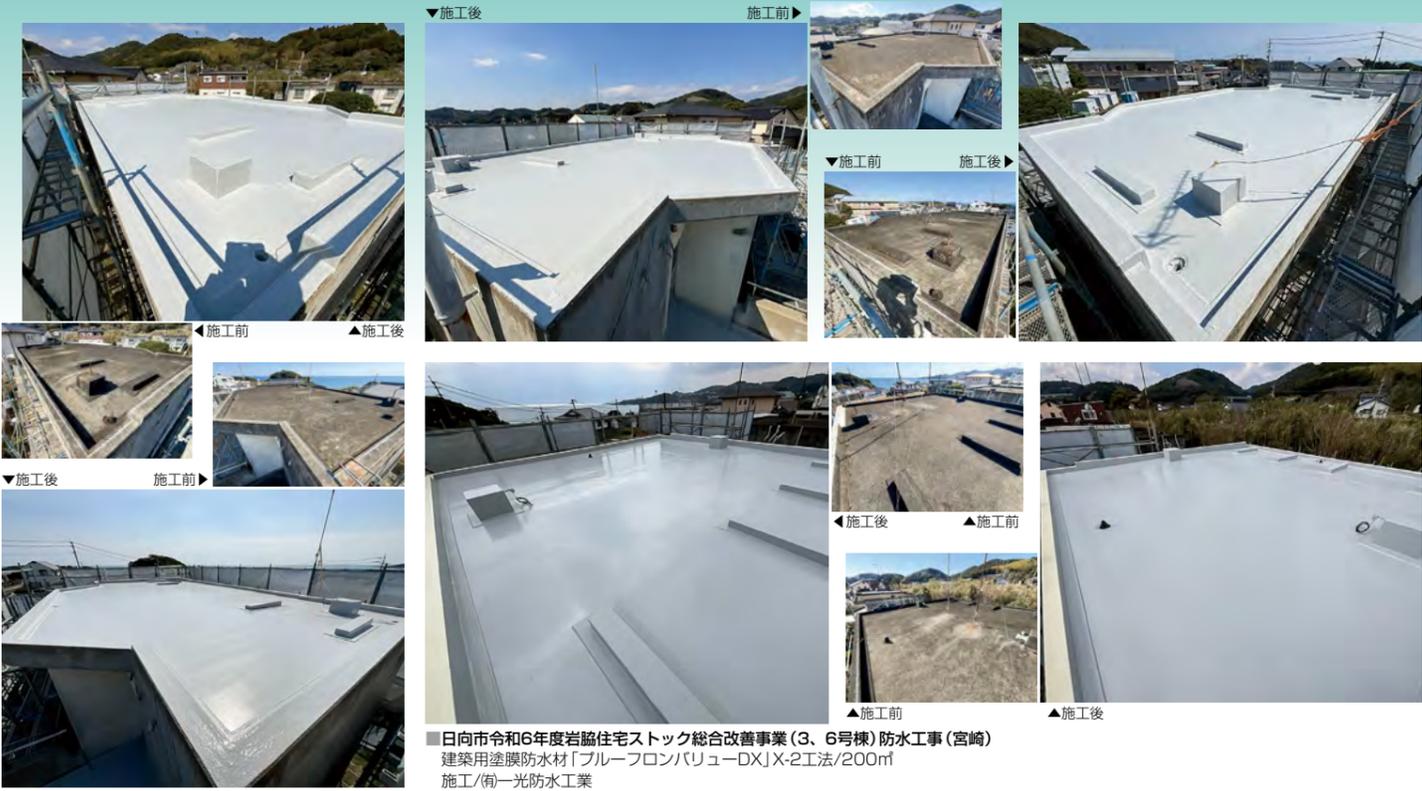


■某熊本事業所新築工事(熊本)
水性硬質ウレタン系塗床材「ユータックコンプリート」CPGU-3F工法/600㎡
施工/㈱駿河コーポレーション

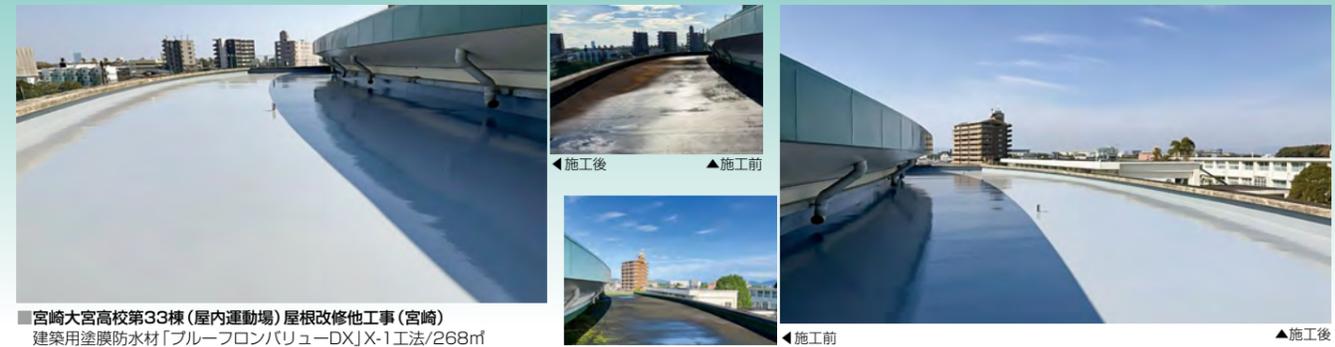


■大分市某倉庫床改修工事(大分)
塗床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ工法/300㎡
施工/アイシン㈱

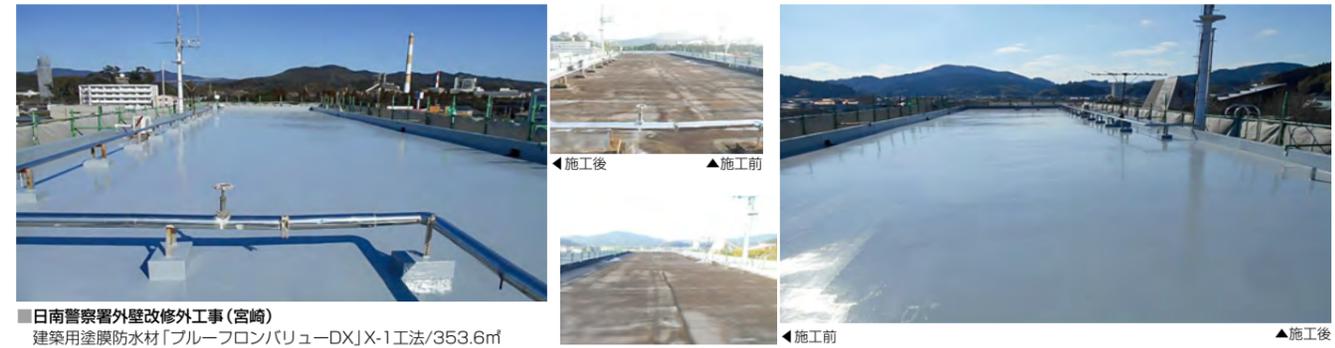
街を彩るニットの製品



■日向市令和6年度岩脇住宅ストック総合改善事業(3、6号棟)防水工事(宮崎)
 建築用塗膜防水材料「ブルーフロンバリューDX」X-2工法/200㎡
 施工/㈱一光防水工業



■宮崎大宮高校第33棟(屋内運動場)屋根改修他工事(宮崎)
 建築用塗膜防水材料「ブルーフロンバリューDX」X-1工法/268㎡
 建築用塗膜防水材料「ブルーフロンバリューDX」X-1工法/55.6㎡
 施工/㈱エイエフ工業



■日南警察署外壁改修外工事(宮崎)
 建築用塗膜防水材料「ブルーフロンバリューDX」X-1工法/353.6㎡
 建築用塗膜防水材料「ブルーフロンバリューDX」X-2工法/181.6㎡
 施工/㈱エイエフ工業



■小林市某小学校屋上防水改修工事(宮崎)
 建築用塗膜防水材料「ブルーフロンバリューDX」X-1工法/500㎡
 施工/㈱森田塗装店



■宮崎海洋高校第32棟(特別教室棟)外壁改修工事(宮崎)
 建築用塗膜防水材料「ブルーフロンバリューDX」X-1工法/669㎡
 建築用塗膜防水材料「ブルーフロンバリューDX」X-2工法/134.3㎡
 施工/㈱エイエフ工業



■諸塚合同庁舎外壁改修他工事(宮崎)
 建築用塗膜防水材料「ブルーフロンバリューDX」X-1工法/186.7㎡
 建築用塗膜防水材料「ブルーフロンバリューDX」X-2工法/102.9㎡
 施工/㈱エイエフ工業



■ふれ愛の郷(鹿児島)
 建築用塗膜防水材料「ブルーフロンエコDX」+「ブルーフロンエコHG」複層工法 PX-DHG30S/2,000㎡
 施工/㈱有村防水



■宮崎市立江平小学校北校舎屋上防水改修工事(宮崎)
 建築用塗膜防水材料「ブルーフロンバリューDX」X-1工法/1015.3㎡
 建築用塗膜防水材料「ブルーフロンバリューDX」X-2工法/52.7㎡
 施工/㈱エイエフ工業



■平田団地屋上防水改修工事(鹿児島)
 建築用塗膜防水材料「ブルーフロンエコDX」+「ブルーフロンエコHG」複層工法 PX-DHG30S/500㎡
 施工/㈱有村防水



■奄美某処理施設(鹿児島)
 超硬化ウレタ・ウレタンゴム系塗膜防水材料スプレシステム「NTスプレータイプS」NM-SS30S工法/280㎡
 施工/㈱有村防水

日本特殊塗料株式会社紹介

当社は1929（昭和4）年6月に航空機用塗料の生産・販売を目的に設立されました。戦後、セメント瓦屋根用塗料をはじめ、建築用塗料分野等に進出し、自動車用防音・防錆塗料開発で大きく成長しました。現在は各種分野用の塗料と、自動車用防音材、防錆材を手がけています。

塗料事業

遮熱塗料など、各種機能性塗料をラインアップしています。航空機、ロケット用塗料、建築用塗料（内外装、屋根、床、屋上防水、プール用など）、防食被覆材（上下水道、農業廃水用など）、DIY製品（建築用、ホビー用など）、防音製品（建築用、鉄道用など）など。



風力発電ブレード用塗料
「ウインドハロートップコートF」



塗り床材「ユータックR」（東京ドームローラースケートアリーナ）



屋根用遮熱塗料「水性バラサーモ」（某介護老人保健施設）



ウレタン塗膜防水材
「ブルーフロンエコDX」（某学校）



建築用防音材「防音くん 吸音デコ」が
採用された放送施設（東京）



鉄道用防音材が採用された
九州新幹線N700系「さくら」

自動車製品事業

自動車のさまざまな部位の防音材、防錆材を製品化し、国内すべてのカーメーカーにご採用いただいています。振動を原因としたノイズを減少させる制振材、反響音を弱める吸音材、音の波動を減少させる遮音材をもとに、快適なカーライフを演出しています。

●自動車用防音材

- 自動車用吸音材「フードインシュレーター」
- 自動車用吸音材「吸音ホイールハウスライナー」
- 自動車用防錆材・シーラント
- 「NTガードコート」「シールトップ」
- 「NTガードコート」
- 超軽量防音システム部品「RIETER ULTRA LIGHT™」
- 自動車用「フロアカーベット」
- 自動車用塗布型制振材「NTダンピングコート」

日本特殊塗料株式会社

〒114-8584 東京都北区王子3-23-2

■本社 ■開発センター

■塗料事業／塗料事業本部、東京営業所、神奈川営業所、中部営業所、大阪営業所、中四国営業所、九州営業所、DIY販売部

■自動車製品事業／営業統括部、東日本第1営業所、東日本第2営業所、中日本営業所、西日本第1営業所、西日本第2営業所

■工場／平塚工場、静岡工場、愛知工場、広島工場、九州工場、東九州工場

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.ntonoryo.co.jp/>